

令和5年度 大東市教育委員会 7月定例会 会議録

1. 開催年月日

令和5年7月25日（火） 午前10時00分～午後0時10分

2. 開催場所

大東市教育委員会会議室

3. 出席者（5名）

- ・教育長 水野 達朗
- ・教育長職務代理者 太田 忠雄
- ・教育委員 齊藤 めぐみ
- ・教育委員 中野 健一郎
- ・教育委員 澤田 真由美

4. 出席説明員（15名）

- ・教育総務部長兼教育企画室長 北本 賢一
- ・学校教育政策部長 渡邊 良
- ・教育総務部総括次長兼学校管理課長 芦田 雄一
- ・学校教育政策部総括次長兼指導・人権教育課長 村島 正浩
- ・教育総務部次長兼教育総務課長 杉谷 明子
- ・教育総務部教育総務課参事兼野崎青少年教育センター所長 前島 康浩
- ・教育総務部教育総務課参事兼北条青少年教育センター所長 田中 廣信
- ・教育総務部兼学校教育政策部教育企画室課長 有東 良博
- ・教育総務部家庭・地域教育課長 長町 幸一
- ・学校教育政策部教職員課長 花澤 秀之
- ・学校教育政策部ICT教育戦略課長 川阪 栄介
- ・学校教育政策部ICT教育戦略課参事 山本 和人
- ・学校教育政策部課長兼教育研究所長 浅井 裕子
- ・政策推進部戦略企画課長 福田 悦子
- ・教育総務部教育総務課上席主査 勝又 瞬

5. 傍聴者 17名

6. 議事日程

- 日 程 第 1 会議録署名委員の指名について
- 日 程 第 2 教委議案第 22 号
市長の権限に属する事務の補助執行について
- 日 程 第 3 教委議案第 23 号
令和 6 年度使用大東市立小学校教科用図書採択について
- 日 程 第 4 教委議案第 24 号
令和 6 年度使用大東市立中学校教科用図書採択について
- 日 程 第 5 教委議案第 25 号
「令和 5 年度小学生すくすくウォッチ」の結果の公表について
- 日 程 第 6 教委議案第 26 号
令和 5 年度大東市一般会計補正予算（第 3 次）【教育関係】に係る意見聴取について
- 日 程 第 7 一般業務報告

7. 議案書

教委議案第 22 号

市長の権限に属する事務の補助執行について

教育委員会の事務を補助する職員をして補助執行させている事務を追加することについて、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 180 条の 2 の規定により協議を行う。

令和 5 年 7 月 25 日提出

大東市教育委員会

教育長 水 野 達 朗

理 由

大東市長より地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 180 条の 2 の規定に基づき協議の申し出があったため。

市長の権限に属する事務の補助執行について

1 補助執行を行う業務

教育財産の用途を廃止し、地方自治法第238条の2第3項の規定により市長に引き継がれた普通財産の新たな目的に供するまでの管理及び新たな目的に供するための処分（建物等の取壊しに限る。）に関すること。

2 取壊し理由

業務を効率的に執行するため。

<参考>

地方自治法 第180条の2

普通地方公共団体の長は、その権限に属する事務の一部を、当該普通地方公共団体の委員会又は委員と協議して、普通地方公共団体の委員会、委員会の委員長(教育委員会にあつては、教育長)、委員若しくはこれらの執行機関の事務を補助する職員若しくはこれらの執行機関の管理に属する機関の職員に委任し、又はこれらの執行機関の事務を補助する職員若しくはこれらの執行機関の管理に属する機関の職員をして補助執行させることができる。ただし、政令で定める普通地方公共団体の委員会又は委員については、この限りでない。

大東戦略企第 10382 号
令和 5 年 7 月 6 日

大東市教育委員会 御中

大東市長 東坂 浩一
(公印省略)

市長の権限に属する事務の補助執行について（協議）

地方自治法第 180 条の 2 の規定に基づき、市長の権限に属する事務のうち、下記の事務について、教育委員会の事務を補助する職員に補助執行させることを協議します。

記

教育財産の用途を廃止し、地方自治法第 238 条の 2 第 3 項の規定により市長に引き継がれた普通財産の新たな目的に供するまでの管理及び新たな目的に供するための処分（建物等の取壊しに限る。）に関する事。

教委議案第 23 号

令和 6 年度使用大東市立小学校教科用図書採択について

令和 6 年度使用大東市立小学校教科用図書の採択について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 21 条第 6 号の規定に基づき、次のとおり教育委員会の議決を求める。

令和 5 年 7 月 25 日提出

大東市教育委員会

教育長 水野 達朗

理 由

小学校の令和 6 年度使用教科用図書については、令和 5 年 7 月 10 日の大東市教科用図書選定委員会（小学校）において慎重に検討された結果、答申が出された。

については、この答申を受け、本市採択教科用図書を決定するため。

答 申 文

令和5年7月25日

大東市教育委員会 様

大東市義務教育諸学校
教科用図書選定委員会(小学校)

令和6年度大東市立小学校使用教科用図書の選定について

令和5年4月25日付、教育委員会より諮問のあった標記について、別添のとおり答申します。

《 国 語 》

○ 東 書 「 新編 新しい国語 」

- ・「国語学習の進め方」「ノートの手書き方」「デジタルノートの書き方」など、学ぶ姿勢が分かりやすくまとめられている。
- ・二次元コードによる動画説明が多く視覚的な理解のしやすさがあり、例えば話し合う単元では、そのモデルを視覚的に示している。児童が主体的に学ぶための工夫がある。
- ・1年では、児童がつまづきやすい言葉の学習で、動作を交えた学習活動によって、楽しみながら言葉の獲得ができる内容になっている。
- ・5年の教科書には日本の地方ごとに都道府県の漢字を書くだけでなく、都道府県を紹介する文を書くようになっており、教科横断的な学習ができるように配慮されている。
- ・各単元の扉絵には大きな写真や絵が使われており、学習者の興味・関心を惹きつける役目をしている。

○ 教 出 「 ひろがる言葉 小学国語 」

- ・5、6年の教科書が上と下に分かれていて、児童の教科書の持ち帰りに対して配慮されている。
- ・落語では、登場人物のセリフが誰かが分かりやすいように、●○など印がしてある。
- ・線を赤線ではなくオレンジ色の線にしていることや、水色など柔らかな色を使うことによって視覚的に負担を減らしている。

○ 光 村 「 国語 」

- ・3年「ちいちゃんのかげおくり」、4年「一つの花」、5年「たずねびと」、6年「平和のとりでを築く」と、平和を題材にしている物語が多く、「ちいちゃんのかげおくり」は、光村のみ掲載している。
- ・巻末に、教科書に出てきた同じ作者の作品が書かれており、多読への興味・関心を誘っている。
- ・他教科（生活・外国語・特別の教科道徳・算数・理科・総合的な学習の時間など）との関連学習ができるようになっている。
- ・巻頭に「国語の学びを見わたそう」として学習の見通しをもつことができるページがあり、児童が安心して学習に取り組めるようになっている。

《 書 写 》

○ 東 書 「 新 しい 書 写 」

- ・「書写のかぎ」というコーナーが設けられ、系統的に整理した学習事項のポイントが明快に示されている。
- ・絵日記や生活作文など国語と連動させた言語活動を取り上げ、生活に活用できる書写力が目標にされている。

○ 教 出 「 小 学 書 写 」

- ・巻頭に手書きの良さや手書きで「書く」ことについて関心を高めようという工夫がある。
- ・「レッツ・トライ」「書いて伝え合おう」のページでは、習得した書写の力を日常生活に活用できるように関連が図られている。また、日常生活と関連の深い「横書きの書き方」が、発達段階に応じて各学年で扱われている。

○ 光 村 「 書 写 」

- ・全学年でタブレット端末を使う姿勢についても、ふれられている。
- ・「書写スタートブック」や「毛筆スタートブック」、「書写体そう」や「整理体そう」など、児童が主体的に取り組めるしかけが多数ある。
- ・「はらい」や「とめ」では、「すうっ」「ぴたっ」という擬態語や擬音語を使ったり、ねこのキャラクターの動きで表現したりと、筆づかいをイメージしやすくしている。
- ・著名人の手書き文字や紹介がうまく使われていて、興味や関心を持ちやすく、興味や関心を広げやすくなっている。
- ・巻末には、「この本を作った人からのメッセージ」が掲載されている。

《 社 会 》

○ 東 書 「 新編 新しい社会 」

- ・文字が大きく、本文と資料が見やすく色分けされており、すべての児童にとって見やすい紙面になるよう工夫されている。
- ・5、6年は分冊となっており1冊あたりの重量が軽いため持ち帰りやすい。
- ・各単元末には、「まとめる」が配置され、二次元コードによるワークシートも用意されており個別最適な学びにつながりやすいよう工夫されている。
- ・キャラクターが目印の「見方・考え方」に着目し、どのような方法で探究すれば社会的な見方・考え方が身につくのが、明確になるよう工夫されている。

○ 教 出 「 小学社会 」

- ・イラストや、UD 字体、カラーUD などインクルーシブ教育を強く意識したつくりになっている。
- ・単元ごとに「つかむ」「調べる」「まとめる」が明示されており、児童が今何をすべきか見通しをもって学習しやすい工夫がされている。
- ・3、4年においては、本市の副読本との併用がしやすい構成となっている。

○ 日 文 「 小学社会 」

- ・1時間ごとに見開きで課題解決型の学習が展開できるように工夫されている。また、児童にとって文量が適切で、読みやすく、見やすい工夫がされている。
- ・児童にとって、身近な地域（関西地方）を多く扱っており、学習に主体的に取り組みやすい。
- ・6年では、渋染一揆を大きく、詳しく取り上げ人権学習に結びつけやすい。
- ・挿絵の人物に名前が記載されており、授業場面で児童に注目させやすい。
- ・協働的な学びを実現するための活動が単元末にあり、話し合いの流れが視認されやすいよう工夫されている。
- ・二次元コンテンツにワークシートや資料が豊富にあり、授業や家庭学習に活用しやすいよう工夫されている。

《 地 図 》

○ 東 書 「 新編 新しい地図帳 」

- ・ 3年から地図帳の利用を意識した内容である。
- ・ 地図帳の導入において、博士と一緒に地図学習を進める流れで書かれており、楽しく学びに向かうことができる。
- ・ 「ホップ、ステップ、マップでジャンプ」というコーナーがあり、地図から探すことを誘うようになっている。

○ 帝 国 「 楽しく学ぶ 小学生の地図帳 」

- ・ 3年から4年間使用することから、「3年生の学習」という項目があり、地図の基本・約束についての記述がある。3年生が読みやすいように文字が大きく、ゆとりのある配置である。
- ・ 160万分の1の縮尺の「広く見わたす地図」では、都道府県名がはっきりとして見つけやすく、都道府県で有名なものが大きなイラストで載っており、3、4年生が学習に活用しやすい。
- ・ 日本の歴史のページでは出来事の年表に、それぞれの出来事が地図帳のどのページで起きている事なのかが細かく載っており、児童が興味・関心を持つ内容になっている。
- ・ 「地図マスターへの道」というコーナーや二次元コードが2ページに1つはついており、発展的な学習ができるような動画やクイズがある。
- ・ 「SDGs」や「日本の自然災害と防災」について掲載されており、児童がより日常生活とつなげやすい。

《 算 数 》

○ 東 書 「 新編 新しい算数 」

- ・保幼小のつながりを意識し、1年は入門期の教科書が別冊となっている。他学年の教科書より大きいA4サイズで、書き込めるオールインワン型であり、入学当初の学習をサポートする工夫がある。また、実際に教科書上にブロックを置いて、操作する学習活動ができる。
- ・デジタルコンテンツが非常に多い。ほぼすべてのページに二次元コードがあり、個別最適な学びが保障されている。取り組む問題数も、個に応じて決めることができる。
- ・導入ページは、児童たちの興味がある課題設定となっていて、日常生活や社会と関連付けやすい。また、導入にふさわしい問いがあり、協働的に学びを進める工夫がされている。
- ・複数の考え方を提示し、児童が説明する課題や話し合いを促す吹き出しがあるなど、協働的な学びを意識できる内容になっている。
- ・資料やデータのよみとりから理解を深めることができるページが多くあり、問題の解決方法を生活に生かすことができる。

○ 大 日 本 「 新版 たのしい算数 」

- ・他教科や他学年とのつながりを児童自身が意識して学べるよう、マークや関連事項を記載する工夫がある。
- ・複数の考え方を示して、対話を通して考えを深めていくことができる工夫がある。

○ 学 図 「 みんなと学ぶ 小学校 算数 」

- ・算数的な見方・考え方をキャラクターとして教科書の中で登場させ、児童が楽しみながら学習できる工夫がある。内容も児童が自ら気づき、考えるヒントになる工夫がある。
- ・個別最適な学びを進める手立ての一つとして、図や表を使って、自分の考えを表現する方法が、選択できるようになっている。低学年からの半具体物を使った思考も、継続してできるようになっている。
- ・資料やデータを活用するページが多く掲載されていて、生活に生かすことができるように配慮されている。

○ 教 出 「 小学算数 」

- ・理科や社会、国語などの他教科と関連した場面を扱った教材があり、児童が教科横断的に学習に取り組める工夫がある。
- ・複数の考え方を示している。また、授業の中で話し合っ深める手立てが示されている。

○ 啓 林 館 「 わくわく 算数 」

- ・「算数の学習の進め方」のページで、算数の学習の学び方について記載されており、児童が主体的に学ぶ工夫がある。
- ・「ふりかえろう」から「やってみよう」のページへのつながりが、自然と生活に学んだことを活用できる流れとなっている。

○ 日 文 「 小学算数 」

- ・ 5、6年の教科書では、中学校とのつながりが意識できるよう、中学接続マークが使われており、スパイラルに学習意欲を持たせている。
- ・ 6年「データの調べ方」では、問題の解決の仕方が9ページにわたって解説されており、今後の生活に生かしやすくなっている。

《 理 科 》

○ 東 書 「 新編 新しい理科 」

- ・ 消防士など働く大人の姿に女性職員の写真を掲載し、職業によるジェンダーギャップに配慮されている。
- ・ 二次元コンテンツが豊富で、動画資料やデジタルで書き込み可能なワークシート、実験説明や問題などのコンテンツにリンクさせているため、一人ひとりが柔軟に学習に取り組める環境が設定されている。

○ 大 日 本 「 新版 たのしい理科 」

- ・ 全体的なレイアウトが、余白を含め配色のバランスがよく、情報をとらえやすくなっている。
- ・ 学習に関連付けられた資料や実験手順などの動画や確認問題、地域の科学館や博物館のウェブサイトや二次元コードでリンクさせているため、一人ひとりが柔軟に学習に取り組める。
- ・ 単元のおわりでは、「たしかめよう」で学習を確認することができ、「ふかめよう」として学んだことをさらに深められるようになっている。

○ 学 図 「 みんなと学ぶ 小学校 理科 」

- ・ 月の動きの実験でボールを使用して行うなど、身近な材料や道具を使って実験や観察を行えるような提案がされている。
- ・ 文末に「…」をつけ、続きを児童が考えるように意図されている会話が多く取り入れられているため、説明する活動を通して、新たな気づきが得られるようになっている。

○ 教 出 「 未来をひらく 小学理科 」

- ・ 考え方、見方の視点になることや、知識としてのキーワードが色分けマーキングされ、児童が学習のポイントを押さえやすくなっている。
- ・ 学習の内容ごとに、気づきから振り返りまでが一連の流れとなるように示されている。
- ・ 「まなびリンク」として動画やウェブ図鑑、他社リンクなど、内容が充実している。特にウェブ図鑑においては3年の生き物の単元で有効に活用することができる。

○ 啓 林 館 「 わくわく理科 」

- ・ 「理科の楽しみ方」として「見つける・調べる・まとめる」の3つの段階に分けて示し、学習の流れがわかりやすく確認できるようになっているとともに、その学年で特に大切な部分が示されている。
- ・ 写真やイラストが、児童の発達段階に応じた適切な資料として、学習内容を捉えやすい。
- ・ 考え方、見方の視点になることがマーキングされ、児童が学習のポイントを押さえやすくなっている。
- ・ 随所に「思い出そう」の項目があり、既習内容や他教科での学習などを振り返ることができるように工夫されている。

《 生 活 》

○ 東 書 「 新編 新しい生活 どきどきわくわく1年 あしたへジャンプ2年 」

- ・「かつどうべんりてちょう」は児童の学びの支援となっている。道具の使い方、調べ方、まとめかたなどがすべて二次元コードを読み取ることで、いつでも確認できるようになっている。
- ・実際に活動している写真がページごとに盛り込まれており、イメージしやすい構成になっている。登場する挿絵の子どもたちも多文化・多様性の視点から描かれている。
- ・巻末に「ほんとうのおおきさ いきものずかん」として、春夏秋冬が連続で紹介されている。見比べがしやすいページ構成である。
- ・日常生活や学校での活動と結びついた内容となっている。

○ 大 日 本 「 新版 たのしい せいかつ だいすき1年 ひろがれ2年 」

- ・写真や挿絵などが効果的に配置され、適切である。文字の分量も適切である。児童の発達段階に配慮されている。
- ・ふりかえり欄は、顔の型に自分の気持ちを表現するという形（きもちマーク）がある。自分の気持ちが表情として視覚化されている。

○ 学 図 「 みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 1年～2年 」

- ・「学び方図かん」は児童の学びの支援となっている。
- ・ページごとに「ものしりノート」「やくそく」という欄があり、活動する時のヒントが示されており、わかりやすい。

○ 教 出 「 せいかつ みんな なかよし1年 なかよし ひろがれ2年」

- ・案内役の「いぐら」は親しみがあってよい。子どもたちにも親しみやすいキャラクターである。
- ・案内役の「いぐら」によるふりかえりが単元で1つある。「いぐら」が上っているハシゴの高さで、振り返りの質問に対してどこまで達成したか＝登れたかという評価の方法は、達成率が高さとして見える工夫がある。

○ 光 村 「せいかつ たんけんたい はじめてがいっぱい1年 はっけんだいすき2年」

- ・各ページの挿絵としてヨシタケシンスケさんの絵が使われており、素朴さの中にあたたかさが感じられる。
- ・教科書を用いる学年と同学年児童が書いたと思われるふりかえりやワークシート等が教科書全体を通して記載されており、書き方の手本やイメージをもつことができる。

○ 啓 林 館 「 わくわく せいかつ上 いきいき せいかつ下 」

- ・総重量660gと軽く、低学年の児童にとって負担感がない。
- ・写真や挿絵、図、などが効果的に配置されている。
- ・単元ごとのふりかえりでは、「できるかな できたかな？」と題して、3つの質問がイラストとともに記載されている。できたものには○をする仕組みであり、文章表記だけではないことから、児童は取り組みやすい。

《 音 楽 》

○ 教 出 「 小学音楽 音楽のおくりもの 」

- ・歌唱では、低学年から輪唱・交互唱・パートナーソングを取り扱っており、合唱の基礎を効果的に学ぶことができる。
- ・音楽づくりでは、簡単に取り組める教材から、発展的な内容のものまで発達段階に応じて幅広く取り扱っている。
- ・音楽を構成する基本的な要素について学び、それらを活かして表現や鑑賞につなげるなど、学年ごとに系統性ある年間計画になっている。
- ・二次元コードの動画を活用し、より詳細な資料を閲覧したり、基本的な奏法を学んだりすることができるなどの工夫がみられる。

○ 教 芸 「 小学生の音楽 」

- ・観点別の目標が教科書にもはっきりと明記されており、教員だけでなく、児童にも意識させることができる。
- ・美しい写真が多く、写真を手掛かりに歌詞をイメージしやすい。特に、5年の「スキーの歌」の写真は、躍動感があり、歌詞と結びつけやすい。
- ・表紙裏のコラムや、作曲家などのインタビューなど、曲に関連した記事が掲載されている。

《 図画工作 》

○ 開隆堂 「 図画工作 」

- ・ どの題材にも「タブレット端末で見てみよう」という二次元コードがあり、学習のめあてや用具の使い方、作品例などがみられるようになっており、どの児童にとってもわかりやすい工夫がされている。また、作品カードや振り返りカードもダウンロードすることができる。
- ・ 全体的に写真や文字が大きく、制作する児童の表情も明るく親しみやすい。
- ・ 使用する用具や材料がイラストとともにわかりやすく示されている。

○ 日 文 「 図画工作 」

- ・ 色や模様で心（気持ち）を表す「気持ち」カードコレクションは高学年ならではの題材設定がされている。
- ・ 題材の制作から完成までの過程を図や写真でわかりやすく示している。
- ・ 二次元コンテンツ（シンキングツール、鑑賞ツール、KOMAKOMA など）が充実しており、多様な学び・表現ができるよう工夫されている。また、「作品」横の二次元コードから参考作品を多数閲覧することができる。
- ・ アートカードを使った対話的な鑑賞の取り組みが設定されている。

《 家 庭 》

○ 東 書 「 新編 新しい家庭 」

- ・学習の進め方が3ステップで構成されており、学びやすい流れになっている。
- ・早い段階で「SDGs」の視点を学び、その後の学習や他教科に生かすことができるように工夫がされている。
- ・「家庭科の窓」「生活を変えるチャンス」などの項目から、学んだことを生活に生かすことが期待できる。

○ 開 隆 堂 「 わたしたちの家庭科 」

- ・実物が分かるように写真を使うところと、イラストで説明するところがあり、発達段階を考慮しながら、必要に応じた見やすさの工夫がなされている。児童が活動しやすいよう見て分かる工夫がされている。
- ・実習手順や制作手順は見開きページにまとめられ、児童にとって、流れや順序が理解しやすい構成になっている。
- ・多様な動画コンテンツがあり、児童が自己調整しながら、主体的に学習を進めていけるよう配慮されている。
- ・「キャリアインタビュー」として、21名のインタビューが掲載されており、キャリア教育の一環とすることができる。

《 保 健 》

○ 東 書 「 新編 新しい保健 」

- ・挿絵のキャラクターが、様々な国の人や障がい等について配慮された内容になっており、多文化共生の観点から優れている。
- ・4ステップで構成されており、知識・技能を習得できる内容が取り上げられている。また、「実習」では関連資料を確認しながら進められるよう工夫されている。

○ 大 日 本 「 新版 たのしい保健 」

- ・挿絵が多く取り入れられており、挿絵に解説の文章が書かれているため、本文の文章量が少なく、読みやすい。
- ・各ページの下に「ミニ知識」が取り上げられており、知識量を増やすことができる。

○ 大 修 館 「 新 小学校保健 」

- ・「まとめ」では、自分の生活を見直す活動が設けられており、自分の生活を振り返ることで、健康の保持増進をめざすよう取り扱われている。
- ・3ステップのシンプルな学習過程で構成されており、指導しやすい。

○ 文 教 社 「 新わたしたちの保健 」

- ・「Stage」では、課題を解決する過程において、思考・判断したことを他者に伝える工夫がされている。
- ・「ここが大事」マークによって、理解すべき知識を確認することができる。

○ 光 文 「 小学保健 」

- ・単元の巻頭に4コマ漫画が掲載されており、なぜ学ぶのかを理解しやすいように工夫されている。
- ・「警察官に聞く」「保健師に聞く」等、インタビュー形式で記載されており、知識を学ぶことができるようになっている。

○ 学 研 「 新・みんなの保健 」

- ・単元のはじめに「学習のめあて」がわかりやすく提示されている。学習の進め方は、①自分で考える ②友だちやみんなと考える ③身に付けたことを生かす の3つで構成されており、確実に力を身に付けることができる。
- ・各単元に設定されたデジタルコンテンツで、興味・関心があることについて詳しく学べる工夫がされている。タブレット端末でワークシートに記入することができ、学びの共有がしやすくなっている。
- ・「もっと！知りたい・調べたい」のページでは、発展的な内容が示されており、今後どの段階で学習するかのも系統性も配慮されている。「(タバコの)断り方」の実習動画等、わかりやすく掲載されている。

《 英 語 》

○ 東 書 「 NEW HORIZON Elementary English Course 5・6 」

- ・外国の人との交流を目標とし、一度に複数のキーセンテンスを学び、テーマから多角度に広がる様々なコミュニケーション活動を盛り込んでいる。
- ・5、6年で1冊の Picture Dictionary を使用するため、6年生が5年生で学んだ単語を使うことができるように工夫されている。
- ・デジタル教科書では、字幕を出すことができ、発音と単語が結びつきやすい。

○ 開 隆 堂 「 Junior Sunshine 5・6 」

- ・各 Lesson が8～9時間で組んであり、学習する英語へ「出会う」→「聞く」→「慣れ親しむ」→「活動する」→「伝え合う」→「海外の生活や様子を知る」→「既習事項のチェック」と、段階を踏んでいる。またページに1～8の数字の表示があり、児童が学びの進捗を確認することができる。
- ・巻末に観点毎の CAN-DO リストがあり、児童にも教員にも系統的なゴールが示されている。
- ・デジタル教科書では「Let's watch and Think」の速度を変えることができるため、児童がメモを取りやすい。速度を変えて、聞くことや発音することの練習ができる。
- ・5年、6年それぞれに Word Book (辞書) がついており、内容はほぼ同じであるが、6年に頻度 (always-never) や、部活動が加えられ、広い表現への活用を狙っている。

○ 三 省 堂 「 CROWN Jr. 5・6 」

- ・ページ構成が見やすく、教員にとって授業をしやすい。各 Unit で新しく出てきた英文につながる英文が次ページに出てくるため、復習しつつ、表現を広げることができる。
- ・ページの下にポイントが記載されており、児童自身がポイントを確認することができる。

○ 教 出 「 ONE WORLD Smiles 5・6 」

- ・挿絵や写真で、男女や多様な国の人を紹介しており、さらに乳児を背負った父親、幼児を連れた母親、車いす使用者が描かれるなど、多様性に富んでいる。
- ・各 Lesson の最後に振り返りがあり、ねらいがどのくらい達成できたか、視覚的に児童自身で確認できるように工夫されている。

○ 光 村 「 Here We Go! 5・6 」

- ・教科書の構成、5、6年の目標、CAN-DO リストが初めに明示されており学習の目標が明確で、学習を見通すことができる。
- ・デジタル教科書の「Let's Listen & point」があり、Picture Dictionary を使いランダムな発音を聞くことができる。クイズ感覚で楽しく学ぶ工夫がある。
- ・巻末の Picture Dictionary は、はめ込み式となっている。通常は教科書の一部のまま使用し、取り外して使うこともできるため、画期的な便利さである。単語は4線上に書かれており、児童が書き写す時に、基本を守って書くことができる。

○ 啓林館「Blue Sky elementary 5・6」

- ・CAN-DO リストは、Unit や観点別に載っており、会話の内容レベルが高いものがゴールとなっている。理解が早い児童が、自ら発展的に活動できる内容である。
- ・チャンツには強く発音する箇所に赤くアクセントマークがあり、英語特有の強弱やリズムをつかみやすい工夫がある。

《 道徳 》

○ 東 書 「 新編 新しい道徳 」

- ・デジタル教材を二次元コードで読み取ることができ、教材文の朗読を聴くことができたり、スライドショーでどの場面を絵で表しているのかも確認したりできることから、読むことに苦手意識のある児童や状況・場面把握が不得意な児童もイメージしやすい。
- ・デジタルノートはワークシートをダウンロードすることで、ファイルとして記録でき、児童自身が簡単にフィードバックできるというメリットがある。
- ・全学年で情報モラルにおける単元では、発達に応じたカテゴリーで構成されており、系統立てて学習することができる。

○ 教 出 「 小学道徳 はばたこう明日へ 」

- ・児童にも一定の知名度がある人物の言葉を使用するなど、教材に入りこみやすい。
- ・重点テーマに向き合える「ユニット教材」があり、教材について学んだあとコラムに触れることで、自分にできることを考え、学びを広げることができる。

○ 光 村 「 道徳 きみが いちばん ひかるとき 」

- ・中心発問に印が付けられており、教員も児童もわかりやすい。
- ・「なんだろう なんだろう」のヨシタケシンスケさんのページが全学年で採用されており、見開きだけの2ページではあるが子どもが興味をもって考えを深めるきっかけになる。

○ 日 文 「 小学道徳 生きる力 」

- ・「道徳のとびら」(P2～P3)が「自分」⇒「まわりの人」⇒「みんな」⇒「生命・自然」と、視点を広げて考えていくことを目標としていることがよくわかる。
- ・別冊「どうとくノート」は、児童が書きやすい内容となっている。
- ・オリンピックの取扱いやネットモラルでは、「ながらスマホ」を取り上げるなど、児童にとって身近な物事を取り上げている。

○ 光 文 「 小学道徳 ゆたかな心 」

- ・4年の「雨のバス停留所」は全ての教科書にもあるが、漫画で掲載されていて、状況がつかみやすい。
- ・「学びの足あと」は、今の自分の学びの深まり度合いを顔の表情で表せたり、矢印で表せたりすることから、教員が児童の学びを見取りやすい。

○ 学 研 「 新版 みんなの道徳 」

- ・P2～P3で自分のこと(「大切なもの」や「将来の夢」など)を書くことで、自分を見つめる工夫がされている。また、毎年度の初めにあることから、自分で自分の変化を捉えることができる。
- ・教材について深く考え、自分に置き換えて考えることやふりかえりを書く流れが多い。

教委議案第 2 4 号

令和 6 年度使用大東市立中学校教科用図書採択について

令和 6 年度使用大東市立中学校教科用図書の採択について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 3 1 年法律第 1 6 2 号）第 2 1 条第 6 号の規定に基づき、次のとおり教育委員会の議決を求める。

各種目について以下の教科用図書を採択する。

令和 5 年 7 月 2 5 日提出

大東市教育委員会

教育長 水 野 達 朗

理 由

中学校の令和 6 年度使用教科用図書については、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第 1 4 条、同法施行令第 1 5 条第一項の規定により、学校教育法附則第 9 条に規定する教科用図書を除き、令和 5 年度と同一の教科用図書を採択しなければならないため。

<資料>

令和5年度 大東市立中学校使用教科用図書一覧

中学校教科用図書

種 目	発行者番号	発行者略称	書 名
国 語	2	東京書籍	「新しい国語1・2・3」
書 写	38	光村図書出版	「中学書写 一・二・三年」
社会(地理)	2	東京書籍	「新しい社会 地理」
社会(歴史)	17	教育出版	「中学社会 歴史 未来をひらく」
社会(公民)	2	東京書籍	「新しい社会 公民」
地 図	46	帝国書院	「中学校社会科地図」
数 学	104	数研出版	「日々の学びに数学的な見方・考え方をはたらかせるこれからの 数学1・2・3」 「見方・考え方がはたらき、問題解決のチカラが高まるこれからの 数学1・2・3 探究ノート」
理 科 (第1)(第2)	11	学校図書	「中学校科学1・2・3」
音 楽 (一般)(器楽)	27	教育芸術社	「中学生の音楽1・23 上・23 下」 「中学生の器楽」
美 術	38	光村図書出版	「美術1 美術2・3」
保健体育	2	東京書籍	「新しい保健体育」
技術・家庭 (技術)(家庭)	9	開隆堂出版	(技術分野)「テクノロジーに希望をのせて」 (家庭分野)「生活の土台 自立と共生」
英 語	15	三省堂	「NEW CROWN English Series 1・2・3」
道 徳	232	廣済堂あかつき	「中学生の道徳 中学生の道徳ノート」 自分をみつめる1 自分を考える2 自分をのばす3

<資料>

☆義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律

第十四条 義務教育諸学校において使用する教科用図書の採択は、当該教科用図書を使用する年度の前年度の八月三十一日までに行わなければならない。

- 2 九月一日以後において新たに教科用図書を採択する必要があるときは、速やかに教科用図書の採択を行わなければならない。

☆義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令

第十五条 [法第十四条](#)の規定により種目ごとに同一の教科用図書を採択する期間（以下この条において「採択期間」という。）は、[学校教育法](#)（昭和二十二年法律第二十六号）附則[第九条](#)に規定する教科用図書を採択する場合を除き、四年とする。

- 2 採択期間内において採択した教科用図書（以下この条において「既採択教科用図書」という。）の発行が行われないこととなつた場合その他の文部科学省令で定める場合には、新たに既採択教科用図書以外の教科用図書を採択することができる。
- 3 前項に規定する場合（教育課程の基準の変更に伴い既採択教科用図書の発行が行われないこととなつた場合を除く。）において、新たに採択する教科用図書についての採択期間は、第一項の規定にかかわらず、既採択教科用図書についての採択期間から文部科学省令で定める期間を控除した期間とする。

☆学校教育法附則

第九条 高等学校、中等教育学校の後期課程及び特別支援学校並びに特別支援学級においては、当分の間、第三十四条第一項（第四十九条、第六十二条、第七十条第一項及び第八十二条において準用する場合を含む。）の規定にかかわらず、文部科学大臣の定めるところにより、第三十四条第一項に規定する教科用図書以外の教科用図書を使用することができる。

教委議案第25号

「令和5年度小学生すくすくウォッチ」の結果の公表について

「令和5年度小学生すくすくウォッチ」の結果の公表について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第21条第17号の規定に基づき、次のとおり教育委員会の議決を求める。

令和5年7月25日提出

大東市教育委員会

教育長 水野 達朗

理 由

「令和5年度小学生すくすくウォッチ」の結果について、実施要領に基づき、公表内容及び方法についての方針を定めるため。

令和5年度 大阪府新学力テスト（愛称：小学生すくすくウォッチ）実施要領

1 趣旨・目的

子どもたち一人ひとりが、学びの基盤となる言語能力や読解力、情報活用能力等を向上させ、これからの予測困難な社会を生き抜く力を着実につけることを目的とする。

その目的を達成するため、すくすくウォッチの実施を通して、子ども、家庭、学校、市町村教育委員会、大阪府教育委員会は、問題及びアンケートの結果や分析等から、以下の取組みの充実に努める。

(1) 児童

自分の学びをふりかえり自らの強みや弱みなどを知って新たな目標をたて、強みをのばすことや課題を克服すること等に取り組む。

(2) 家庭

子どもの伸びや課題を知り、子どもを誉め、励ます等によって、子どもを支援する。

(3) 学校

- ① 教員が、子ども一人ひとりの学びに対する思いや強み弱みを知り、一人ひとりの実態に合わせた指導を行う。
- ② 教員が、授業等の指導改善を図る。
- ③ 教員が、学習の基盤となる集団づくり等の取組みを充実させる。
- ④ 学校全体として、教員一人ひとりの指導の充実に図るための校内研修等の工夫を図る。

(4) 市町村教育委員会

- ① 各学校の状況を把握し、提供された分析資料を参考に適切な指導・助言を行う。
- ② 市町村の状況に応じた教育の充実のため、施策を推進する。

(5) 大阪府教育委員会

- ① 出題する問題やアンケート項目及びその解説を通じて、今求められる学力や、その指導のポイント等について具体的に示す。
- ② 今後の取組みの参考となる分析資料を各児童、各学校、各市町村教育委員会へ提供する。
- ③ 府全体の状況を把握し、課題に対応するための取組みを推進する。

2 問題及びアンケートの内容等

(1) 児童

① 対象

府内の市町村立小学校、義務教育学校前期課程、支援学校小学部及び府立支援学校小学部（学校）の第5学年、第6学年の全児童。

② 実施内容

ア 第5学年は、国語、算数、理科及び教科横断型問題、第6学年は、理科及び教科横断型問題とする。

- ・ 出題範囲は、「小学校学習指導要領（平成29年告示）」に示された内容で、各学年とも原則として前学年までの学習内容
- ・ 教科問題については、当該学年までに定着すべき学習内容で、基礎的な知識及び技能とともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を問う問題等
- ・ 教科横断型問題については、特定の教科の枠にとらわれず、複数の文書や資料から情報を読み取ったり、問いに対して判断の根拠や理由を明確にして自身の考えを表現したりする力を問う問題等
- ・ 出題形式は、選択式及び短答式に加え、記述式

イ 児童アンケート

児童自身の目標に向かって頑張る力、気持ちをコントロールする力、人と関わる力、次の学びや生活にいかす力、好奇心等に関する内容や、学習状況、学級や授業等に関する意識等のアンケートを実施する。

その際、学校のPC・タブレット等の端末を活用し、オンラインによる回答方式にて実施する。なお、障がいのある児童等において配慮が必要な場合は、紙による回答方式を選択することができる。

(2) 教員

① 対象

府内の市町村立小学校、義務教育学校前期課程、支援学校小学部及び府立支援学校小学部（学校）の第5学年、第6学年の学級担任及び当該学年に関わる教員等。

② 実施内容

教員アンケート

教員自身の授業や指導、学校や学級の様子や取組み等に関するアンケートを学校PC・タブレット等の端末を活用したオンラインによる回答方式にて実施する。

3 問題及びアンケートの実施期間・場所・時間

(1) 実施期間

令和5年4月17日（月）～4月25日（火）とする。実施日は各学校が決定する。

(2) 実施場所及び時間

- ① 実施場所は、各学校とする。
- ② 問題及び児童アンケートの時間は、以下のとおりとする。

ア 国語、算数、理科は、それぞれ20分とする。

イ 教科横断型問題は、40分とする。

ウ 児童アンケートは20分程度とするが、学校のPC・タブレット等の端末を活用したオンラインによる回答方式にて実施することをふまえ、各学校等の状況に応じて適切な時間を設定するものとする。

③ 教員アンケートは、(1)に記載した実施期間のうち任意の時間に実施する。

4 問題・アンケートの作成及び実施並びにその後の取組みの実施体制

(1) 問題・アンケートの作成にあたっては、府内市町村教育委員会との協議をふまえ、読解力や情報活用能力などの育成に関する有識者、教育心理学・認知心理学などに関する有識者、大阪府教育センター、大阪府教育庁の代表者により構成された問題及びアンケート作成のワーキングチームにより協議のうえ作成する。

(2) 大阪府教育委員会は、問題・アンケートの実施に関わり、問題冊子等の作成・配送・回収、結果の採点・集計・分析、教育委員会・学校への結果の提供作業等を行う。

(3) 市町村教育委員会は、実施責任者及び担当者を指名するとともに、設置管理する学校からの相談に対応する等の実施体制を整備する。

(4) 学校は、実施責任者及び担当者を指名するとともに、適切に実施する。

(5) 結果の分析を受けて、大阪府教育委員会及び市町村教育委員会の代表者で、その後の必要な取組みを協議し、それぞれの立場から協力して取組みを進めていく。

※ 大阪府教育委員会は問題・アンケートの作成及び実施にあたり、業務の一部を民間機関に委託する。

5 問題及びアンケート結果の取扱い

(1) 結果分析

① 問題の結果分析

ア 国語、算数、理科、教科横断型問題（以下、「各教科」という。）の状況（観点別正答率、通過率 等）

イ 各教科の設問ごとの状況（正答率、解答類型別児童の割合、通過率 等）

② アンケートの結果分析

ア 児童アンケート及び教員アンケートの回答状況

イ 児童アンケートの回答状況と各教科の結果等との相関関係の分析

ウ 教員アンケートの回答状況と各教科の結果等との相関関係の分析

エ 教員アンケートの回答状況と児童アンケートの回答状況との相関関係の分析

③ その他、すくすくウォッチの目的の達成に資する分析

なお、全国学力・学習状況調査結果を同様に分析した結果の提供も行う。

(2) 提供資料

① 児童

自身の結果とともに、強みや弱み、今後のアドバイスを記載した個人票

② 学校

ア 当該学校全体、学年ごと、学級ごとの状況を表すデータ

イ 各児童の状況を表すデータ

ウ 各児童に関する個人票データ

エ 各児童の結果を経年で比較し、学力の変化を表やグラフで示した個人票を作成できるシステム

オ その他、すくすくウォッチの目的の達成に資する結果データ

③ 市町村教育委員会

ア 学校に提供したデータ

イ 当該市町村教育委員会が設置管理する学校全体の状況を表すデータ

ウ 当該市町村教育委員会が設置管理する各学校の状況を表すデータ

エ その他、すくすくウォッチの目的の達成に資する結果データ

(3) 教育委員会及び学校による各教科及びアンケート結果の公表

各教科及びアンケート結果については、すくすくウォッチの目的を達成するために、教育委員会や学校が、教育施策及び教育について、保護者や地域住民に対して説明責任を果たすことも重要であることを踏まえ、以下のとおりとする。

① 大阪府教育委員会は、大阪府全体の状況及び市町村の状況について公表する。

② 市町村教育委員会は、すくすくウォッチの趣旨に基づき、域内の状況にかかる結果や取組みの説明に努める。

また、自らが設置管理する学校の結果については、それぞれの判断において公表することは可能とする。この場合、個々の学校名を明らかにした公表を行うことについては、すくすくウォッチの趣旨・目的を踏まえ、必要性について慎重に判断すること。

③ 学校は、保護者等に自校の結果について、すくすくウォッチの趣旨・目的を達成するために、公表することは可能とする。

(4) 各教科及びアンケート結果の取扱いに関する配慮事項

各教科及びアンケート結果については、すくすくウォッチの趣旨・目的を達成するため、適切に取り扱うものとする。

各教科及びアンケート結果の公表に関しては、教育委員会や学校が、保護者や地域住民に対して説明責任を果たすことが重要である一方、児童等への影響を十分配慮し、各学校の教育活動に支障を及ぼすことのないようにすること。

このことを踏まえ、具体的な公表の手続き等は以下のとおりとする。

① 公表にあたっては、すくすくウォッチの趣旨・目的に基づき、教育上の効果や影響等

を考慮した上で、適切な内容と方法で行うこと。

- ② 各教科及びアンケート結果の公表を行う教育委員会又は学校においては、単に平均点などの数値のみの公表は行わず、各教科及びアンケート結果の分析を踏まえた取組みや、すくすくウォッチの趣旨・目的に基づいた今後の方策を示すこと。
- ③ 市町村教育委員会が個々の学校名を明らかにした各教科及びアンケート結果について公表を行う場合、当該学校と公表する内容や方法等について事前に十分協議すること。
なお、数値を一覧にした公表や数値により順位を付した公表などは行わないこと。
- ④ 大阪府教育委員会は、学校ごと（設置管理する小学校が1校しかない町村にあつては、町ごと又は村ごと）の各教科及びアンケート結果については、大阪府情報公開条例第8条第1項第4号の規定を根拠として、同条例における非公開情報として取り扱うこととする。なお、学校名を明らかにしない公開であっても同様とする。
また、市町村教育委員会は、それぞれの地方公共団体が定める情報公開条例に基づく規定を根拠とし、本実施要領の趣旨を十分踏まえ、適切に対応すること。

6 各教科及びアンケート結果の活用

各教科及びアンケートの結果からすくすくウォッチの趣旨・目的に基づいた取組みを進めるにあたり、以下の取組みの推進に努めることとする。

- (1) 教員は、個人票等を活用し、児童一人ひとりがすくすくウォッチの趣旨・目的に基づいた取組みを推進できるよう、児童、保護者等に説明し、その後の指導にいかすこと。
- (2) 学校は、教員の指導の充実を図るための校内研修等を開催するなど、すくすくウォッチの趣旨・目的に基づいた取組みを進めるとともに、授業等の指導改善及び学習の基盤となる集団づくり等の取組みを進めること。
- (3) 市町村教育委員会は、教員研修や学力向上担当者会等を開催するなど、すくすくウォッチの趣旨・目的に基づいた取組みを進めるとともに、教育施策および教育の改善を進めること。
- (4) 大阪府教育委員会は、すくすくウォッチの解説資料や事後の指導のための資料を提示するなど、すくすくウォッチの趣旨・目的に基づいた取組みの参考にできるものを具体的に示す等、学校、市町村教育委員会の支援策を進めること。

7 留意事項

- (1) 各教科及びアンケートは、大阪府教育委員会が市町村教育委員会の協力を得て実施する。
- (2) 市町村教育委員会及び学校においては、各教科及びアンケートの実施に関して知り得た秘密については、その保持を徹底すること。
- (3) 市町村教育委員会及び学校においては、提供された各教科及びアンケート結果等について、本実施要領に基づいて適切に活用するとともに、管理を徹底すること。

(4) 大阪府教育委員会は、各教科の結果等を活用して、各児童が自身の学力の経年変化を、進学する府内公立中学校・支援学校でも引き続き見取ることができる個人票を作成するシステムを各学校に提供する。各学校においては設置者の判断により学校間で情報共有を図り、成果と課題を継続的に把握・検証し、個別の指導や支援につなげること。

(5) 個人情報の保護

① 大阪府教育委員会及び大阪府教育委員会が委託した民間機関は、児童・教員の個人名等を取得しない方法を用いること。

② 市町村教育委員会及び学校は、実施に際して知り得た個人情報について、それぞれが遵守すべき個人情報保護関連法令又は地方公共団体の定める条例に基づき、適切に取り扱うこと。

(6) 教育課程上の位置付け

教育課程上の位置付けについては、市町村教育委員会及び学校の判断により、当該教科の授業時数の単位時間の一部として取り扱うことができる。また、アンケートについては、特別活動（学級活動）の一部として取り扱うことができる。しかし、教科横断型問題については、その性格上、その実施のみをもって特定の教科等として教育課程上、位置づけることはできない。

(7) 障がいのある児童への配慮及び対応

障がいのある児童については、学校が、児童、保護者と協議のうえ、各教科及びアンケートの実施を柔軟に対応すること。なお、各教科及びアンケートの実施にあたっては、当該児童の個別の指導計画に基づき、教科・問題の選択、時間の延長、別室の設定などの配慮を行うこと。また、大阪府教育委員会は市町村教育委員会と協議して、当該児童の障がいの種類や程度に応じた問題用紙等の作成・配付に努める。

(8) 日本語指導が必要な児童への配慮及び対応

日本語指導が必要な児童については、学校が、児童、保護者と協議のうえ、各教科及びアンケートの実施を柔軟に対応すること。なお、各教科及びアンケートの実施にあたっては、当該児童の個別の指導計画に基づき、教科・問題の選択、時間の延長、別室の設定などの配慮を行うこと。また、大阪府教育委員会は市町村教育委員会と協議して、当該児童に応じた問題用紙等の作成・配付に努める。

(9) その他、支援が必要な児童への配慮

支援が必要な児童については、学校が、児童、保護者と協議のうえ、各教科及びアンケートの実施を柔軟に対応すること。なお、各教科及びアンケートの実施にあたっては、当該児童の状況に応じて、教科・問題の選択、時間の延長、別室の設定などの配慮を行うこと。

(10) 実施マニュアルの作成・配付

具体的な実施方法等については、別途示す。

8. 一般業務報告

1. 令和5年度大東市6月定例会議会一般質問の要旨について

9. 会議録

水野教育長

定刻になりました。
開会に先立ち、委員の出席状況について報告を求めます。

北本部長

本日の出席は教育長及び教育委員4名、合計5名でございます。
地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項の規定により本会議は成立することを報告申し上げます。

水野教育長

報告のとおり、定足数に達しておりますので、ただ今から7月の教育委員会定例会を開催いたします。

傍聴にお越しの皆様、本日は令和5年7月定例会に傍聴参加いただきありがとうございます。

なお、本日は所管部署でございます政策推進部戦略企画課より議案説明等のために出席いただいております。

それでは、議事に入らせていただきます。

日程第1「会議録署名委員の指名について」でございますが、本日の署名委員は、澤田委員によりしくお願いいたします。

それでは、日程第2 教委議案第22号 市長の権限に属する事務の補助執行について、戦略企画課より提案理由の説明をお願いいたします。

福田課長

政策推進部戦略企画課長 福田でございます。本日は貴重なお時間を頂戴いたしましてありがとうございます。

日程第2 教委議案第22号「市長の権限に属する事務の補助執行について」ご説明させていただきます。

現在、「大東市長の権限に属する事務の補助執行に関する規程」第2条第4号の規定に基づき、教育財産の用途を廃止し、市長に引き継がれた普通財産につきましては、「新たに公用又は公共用の目的に供するまでの短期間の管理」を教育委員会事務局職員に補助執行をお願いしているところです。

この度、建物の取壊しにつきましても地方自治法第180条の2の規定に基づき、教育委員会事務局の職員に補助執行いたしたく、協議をお願いするものでございます。

行政的な目的が廃止され、遊休状態である資産を迅速かつ効率的に次なる活用へと進めていくためにお願いするものでございます。

これにあわせまして、「大東市長の権限に属する事務の補助執行に関する規程」につきましても、資料の「1 補助執行を行う業務」に記載のとおり、「普通財産の新たな目的に供するまでの管理及び新たな目的に供するための処分（建物等の取壊しに限る。）」に改める予定としております。

何卒、よろしくお願いいたします。

水野教育長

この案件につきましてご意見・ご質問はございませんか。
それでは委員の皆さま、市からの協議の申し入れについての本案件について、了承ということによろしいでしょうか。
了承の委員は挙手をお願いします。

【挙手全員】

水野教育長

それでは、戦略企画課所管に関係する議案は終わりましたので、戦略企画課の職員は退席いただいて結構です。ありがとうございました。

水野教育長

それでは、日程第3 教委議案第23号 令和6年度使用大東市立小学校教科用図書採択について、提案理由の説明をお願いします。

浅井所長

教委議案第23号「令和6年度使用大東市立小学校使用教科用図書」の採択についてご説明をさせていただきます。
本議案は、令和6年度に大東市立小学校が使用する教科用図書を採択することにつきまして、教育委員会の議決を求めるものでございます。
理由といたしましては、小学校の教科用図書の採択につきまして、7月10日の選定委員会（小学校）において、慎重に検討、審議をいたしまして、その結果をまとめ、答申が出されました。
つきましては、この答申を受けて、本市小学校採択教科用図書を決定するため、よろしくご審議をお願いいたします。

水野教育長

本議案につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条、教育委員会の職務権限の第6号に規定のあるとおり、学校教育において教科の主たる教材として重要な役割を果たす教科書を、教育委員会の判断と責任により採択するという極めて重要なものであります。
そのため、令和6年度より使用する小学校教科用図書の採択にあたりましては、教育委員会として適正な教科書選定の実施のため、「大東市義務教育諸学校教科用図書 選定委員会規則」にもとづき、選定委員会（小学校）に諮問をし、その意見を求めていたところ です。
われわれ教育委員会各委員においても、それぞれが事前に実際の教科書を読み、編修趣意書や市の調査員からの調査報告資料、大阪府からの選定資料等も参考にして学習してまいりました。
合わせて、各小学校への見本本移動展示による学校現場の教職員のご意見、教科書センターに閲覧に来られた市民の皆様のご意見につきましても全て拝見しました。
本日は、選定委員会（小学校）よりいただいた答申をもとに、大東市の子どもたちにとって最もふさわしい教科書の採択について、慎重な審議を行ってまいりたいと考えております。
審議に入ります前に、答申がなされるまでの過程につきまして、選定委員長から説明願います。

渡邊部長

さきほど教育長からもありましたように、4月25日に令和6年度使用小学校教科用図書の選定につきまして、教育委員会から諮問がありました。

それを受けまして、「大東市義務教育諸学校教科用図書 選定委員会規則」にもとづき、今年度の採択について審議してきたところです。

小学校においては、今年度が採択の年となっております。したがって、より専門的な調査を行うため、調査員をおくことを決定いたしました。

調査員におきましては、発行者ごとに、「目標・内容の取扱い」、「人権の取扱い」、「発達段階への考慮」、「組織・配列」、「学び方の工夫」、「補充的な学習・発展的な学習」、の6項目を中心に、約1ヶ月にわたる調査研究を経まして、7月3日の調査員会において、班長より調査研究の報告をしていただきました。その報告資料をもとに、7月10日に選定委員会を開催し、調査員からの報告資料を慎重に整理し、まとめるという形で答申をさせていただいております。

また、市内12小学校へは見本本の移動展示を各校1週間ずつ開催し、学校としての意見を集約したものも参考にさせていただけるようにしました。

なお、6月6日～7月3日の約1ヶ月間、教育研究所にて、また大東市立東部図書館と大東市立西部図書館においても、教科書展示会を開催しました。閲覧された方は多数で、ご意見は15名分でした。

なお、答申文においては、各発行者の略称を使用しております。正式な名称については、別添の資料にてご確認くださいませようお願い申し上げます。記載順は、文部科学省の「教科書目録」にあります発行者番号順でございます。併せて、答申文の記述につきましても、発行者番号順となっております。

以上が経過報告でございます。

水野教育長

わかりました。ほか、委員の方々から、ご質問はありませんか。

各委員

【質問無し】

水野教育長

それでは、各教科協議に入ります。
まずは国語です。

渡邊部長

それでは国語につきまして、答申文を読み上げさせていただきます。

まず「東書」でございます。

・「国語学習の進め方」「ノート の 作り方」「デジタルノートの作り方」など、学ぶ姿勢が分かりやすくまとめられている。

・二次元コードによる動画説明が多く視覚的な理解のしやすさがあり、例えば話し合う単元では、そのモデルを視覚的に示している。児童が主体的に学ぶための工夫がある。

・1年では、児童がつまずきやすい言葉の学習で、動作を交えた学習活動によって、楽しみながら言葉の獲得ができる内容になっている。

・ 5年の教科書には日本の地方ごとに都道府県の漢字を書くだけでなく、都道府県を紹介する文を書くようになっており、教科横断的な学習ができるように配慮されている。

・ 各単元の扉絵には大きな写真や絵が使われており、学習者の興味・関心を惹きつける役目をしている。

続きまして、「教出」でございます。

・ 5、6年の教科書が上と下に分かれていて、児童の教科書の持ち帰りに対して配慮されている。

・ 落語では、登場人物のセリフが誰かが分かりやすいように、●や○など印がしてある。

・ 線を赤線ではなくオレンジ色の線にしていることや、水色など柔らかな色を使うことによって視覚的に負担を減らしている。

最後に「光村」でございます。

・ 3年「ちいちゃんのかげおくり」、4年「一つの花」、5年「たずねびと」、6年「平和のとりでを築く」と、平和を題材にしている物語が多く、「ちいちゃんのかげおくり」は、光村のみ掲載している。

・ 巻末に、教科書に出てきた同じ作者の作品が書かれており、多読への興味・関心を誘っている。

・ 他教科（生活・外国語・特別の教科道徳・算数・理科・総合的な学習の時間など）との関連学習ができるようになっている。

・ 巻頭に「国語の学びを見わたそう」として学習の見通しをもつことができるページがあり、児童が安心して学習に取り組めるようになっている。

以上でございます。

水野教育長

それでは、協議に入ります。ご意見をお願いします。

中野委員

3者どの教科書も、学習の進め方の見通しが持ちやすいなど、それぞれ工夫がなされ優れた内容だと思いました。中でも答申文や各発行者見本本を比較しますと「東書」が良いと思います。デジタルコンテンツが豊富で、モデル動画等によって、学びが視覚的に示されており、子どもたちが主体的に学びに向かうことができるのではと考えます。

太田委員

点字の学習ページにおいては「光村」と「教出」が、実際に凹凸のある点字を記載されており、体験的学習につながると感じました。

齊藤委員

3者それぞれに、教材が充実していると思います。その中で、私は長年読み継がれている文学作品である「ごんぎつね」の挿絵を見たときに、「東書」と「教出」はタッチも優しく、物語をイメージしやすくなっていると感じました。国語では挿絵も学びを深める上で大切な役割を果たすと思っています。

中野委員

「東書」のデジタルコンテンツについてですが、1人1台端末がありますので「家庭学習」においても、これは、活用できると思います。子どもたちが学びに対して、より主体的に取り組めると思いま

す。

齊藤委員

「教出」では、落語が教材として取り上げられているのが良いと感じます。個人的な感想ではあるのですが、私も小学校時代に落語で本に親しんできたので、子どもたちが小学生で落語に出会えることは非常にすてきだと感じます。国語は教材が、大切だと思いますので、落語など日本で古くから親しまれてきた文化を教材とすることの価値を感じます。

澤田委員

「東書」は、単元末の「ふり返る」の問いと「言葉の力」のまとめが、非常に見やすく、どの子どもたちも学習のポイントが捉えやすいと感じました。

水野教育長

国語の学習では、漢字の学習も子どもたちにとってわくわくする学習の一つだと思います。どの発行者も巻末にまとめられたページがありますが、「東書」は各教材の下に記載されている新出漢字が、太字で表されていることで、子どもたちも意識しやすいのではないかと感じます。

齊藤委員

少し視点が変わりますが、「光村」は、平和を題材にしている物語が3年生から、系統立てて取り上げられているのが良いと感じました。

高学年からだけでなく、3年生から平和について考えることができるのは、非常に重要な視点だと感じます。

太田委員

「光村」は、現在採択されている教科書であり、教員の教材研究も深まっています。また、市内の多くの小学校は国語科について、重点的に研究している学校も多く、その積み重ねも重要です。

また、先ほど、代表的な文学作品についての話がありましたが、「スイミー」は、「光村」では、2年生での教材として、「東書」「教出」では、1年生の教材として扱われています。どの教材をどの学年で学習するのも、非常に大きな点であると考えています。

そのうえで、私は、「光村」の方が、子どもたちの発達に応じた学習が期待できるのではないかと思います。

水野教育長

ありがとうございます。そのご意見をふまえても、私は「東書」が良いと思います。理由は、今、国でも議論されている架け橋期の子どもにとって優れた構成が1年生の導入の部分で意識されていることです。

さて、みなさんから出ました意見を総合的に考えますと、「東書」と「光村」についてのご意見が多かったのかなと思います。

答申文、選定資料等を踏まえましても、「東書」も「光村」も、それぞれの良さがあり、このまま協議を続けていくのも難しいと思いますので、2者で採決をとらせていただきます。よろしいでしょうか。

各委員

【異議無し】

水野教育長

それでは、挙手をお願いします。

「東書」が良いと思う委員・・・水野教育長、中野委員、
澤田委員

「光村」が良いと思う委員・・・太田委員、斎藤委員

「東書」が3名ということになりましたが、太田委員、斎藤委員よろしいでしょうか。

各委員

【異議無し】

水野教育長

それでは、『東書』を採択いたします。次に書写に移ります。

渡邊部長

続きまして書写でございます。

まず「東書」でございます。

・「書写のかぎ」というコーナーが設けられ、系統的に整理した学習事項のポイントが明快に示されている。

・絵日記や生活作文など国語と連動させた言語活動を取り上げ、生活に活用できる書写力が目標にされている。

続きまして「教出」でございます。

・巻頭に手書きの良さや手書きで「書く」ことについて関心を高めようという工夫がある。

・「レッツ・トライ」「書いて伝え合おう」のページでは、習得した書写の力を日常生活に活用できるように関連が図られている。また、日常生活と関連の深い「横書きの書き方」が、発達段階に応じて各学年で扱われている。

最後に「光村」でございます。

・全学年でタブレット端末を使う姿勢についても、ふれられている。

・「書写スタートブック」や「毛筆スタートブック」、「書写体そう」や「整理体そう」など、児童が主体的に取り組めるしかけが多数ある。

・「はらい」や「とめ」では、「すうっ」「ぴたっ」という擬態語や擬音語を使ったり、ねこのキャラクターの動きで表現したりと、筆づかいをイメージしやすくしている。

・著名人の手書き文字や紹介がうまく使われていて、興味や関心を持ちやすく、興味や関心を広げやすくなっている。

・巻末には、「この本を作った人からのメッセージ」が掲載されている。

以上でございます。

水野教育長

それでは、協議に入ります。ご意見をお願いします。

澤田委員

私は、「光村」が良いと思います。1年生の巻頭には、自分の名前を書くところがあり、子どもたちも早く自分の名前を書きたいという意欲をもって入学してきていますので、学びの期待も高まると思いま

す。

齊藤委員

「教出」も巻頭に「手書きの文字の良さ」について、解説されており、学ぶ意義や価値について子どもたちに非常に伝わりやすい工夫が見られます。

太田委員

「光村」は、ねこのキャラクターがナビゲートしていて良いと思います。筆運びなどで、「はらい」「とめ」など、意識すべきところで、ねこのキャラクターの動きが筆遣いを伝えていて、子どもたちもイメージしやすいですね。

水野教育長

キャラクターでいうと、「東書」にも、いろいろなキャラクターが登場して子どもたちがイメージしやすく、わかりやすいと感じます。

中野委員

どの教科書もそれぞれ工夫がなされ優れた内容だと思いました。実社会で使えるようになっていて、非常に良いと感じます。総合的にみると「光村」の動画コンテンツがわかりやすく良いと感じました。視覚的な情報の方が理解しやすい子どもたちもいることを踏まえると、良い工夫だと思います。

水野教育長

ありがとうございます。わたしも、「光村」は、書写体操や整理体操など、学習準備についての工夫が良いと感じました。選定委員からの意見にもあります通り、タブレット端末の使用時の姿勢について、わかりやすく示されているのも今後の学習において、非常に重要な視点だと感じました。

それでは、皆さんから出ましたこれらの意見を総合的に考えますと、本市としては「光村」が、より優れているという部分が多かったのかなと思います。いかがでしょうか。

各委員

【異議無し】

水野教育長

それでは、『光村』を採択いたします。次に社会に移ります。

渡邊部長

続きまして社会でございます。
まず「東書」でございます。
・文字が大きく、本文と資料が見やすく色分けされており、すべての児童にとって見やすい紙面になるよう工夫されている。
・5、6年は分冊となっており1冊あたりの重量が軽いため持ち帰りやすい。
・各単元末には、「まとめる」が配置され、二次元コードによるワークシートも用意されており個別最適な学びにつながりやすいよう工夫されている。
・キャラクターが目印の「見方・考え方」に着目し、どのような方法で探究すれば社会的な見方・考え方が身につくのか、明確になるよう工夫されている。

続きまして「教出」でございます。

- ・イラストや、UD 字体、カラーUD などインクルーシブ教育を強く意識したつくりになっている。
- ・単元ごとに「つかむ」「調べる」「まとめる」が明示されており、児童が今何をすべきか見通しをもって学習しやすい工夫がされている。
- ・3、4年においては、本市の副読本との併用がしやすい構成となっている。

最後に「日文」でございます。

- ・1時間ごとに見開きで課題解決型の学習が展開できるように工夫されている。また、児童にとって文量が適切で、読みやすく、見やすい工夫がされている。
 - ・児童にとって、身近な地域（関西地方）を多く扱っており、学習に主体的に取り組みやすい。
 - ・6年では、渋染一揆を大きく、詳しく取り上げ人権学習に結びつけやすい。
 - ・挿絵の人物に名前が記載されており、授業場面で児童に注目させやすい。
 - ・協働的な学びを実現するための活動が単元末にあり、話し合いの流れが視認されやすいよう工夫されている。
 - ・二次元コンテンツにワークシートや資料が豊富にあり、授業や家庭学習に活用しやすいよう工夫されている。
- 以上でございます。

水野教育長

それでは、協議に入ります。ご意見をお願いします。

齊藤委員

私は、「日文」が良いと感じました。構成やレイアウトについて、文章量や、行間の広さも適切で、子どもたちにとって読みやすいと感じました。

また、登場人物の会話形式で本文を読めることで、子どもたちも学習内容に入り込みやすいなと思います。

一方で、「東書」は、二次元コードが多く、資料としても読み込めるため、個別最適な学びにつながると思います。また、各単元に「まとめる」が配置され、二次元コードによるワークシートも用意されており、同じく個別最適な学びを意識されていて使いやすいと感じました。

中野委員

デジタルコンテンツでいうと、「日文」が良いと思いました。その情報量も重要ですが、やはり子どもたちにとっての操作性。操作のしやすさというところは大切です。また、教科書の内容と、その動画がきちんとリンクしているところは、「日文」が良いと思いました。その動画を見ることで、よりリアリティを体験できるということが、優れていると思いました。

澤田委員

「教出」は、登場人物の多様性について配慮されていると感じました。また、6年生の政治の分野では、特定の市町村を扱っていないため、全国どこの市町村の子どもたちにとっても取り組みやすい教科書になっていると感じました。また、「次につなげよう」という項目が

あるので、学びのつながりを意識した工夫がされていると感じました。

水野教育長

「東書」のキャラクターは、とても馴染みのあるキャラクターなので、楽しく社会科の学習に取り組めることが想像できて良いと思います。キャラクターが、見方・考え方を示してくれることが、学びの手立てとしてとても有効だと感じました。

また6年生において「歴史編」・「政治・国際編」と分かれた分冊という形は、とても評価できると考えています。中学校の社会科とのつながりを意識して、分野ごとの分冊であることはとても良いと感じています。

中学校では、分野ごとに得意・不得意もあると思うので、子ども自身が自分の好きな分野を理解できることは、非常に良い工夫だと感じました。

太田委員

学習に入り込みやすいという部分でいうと「日文」は、大東市の子どもたちにとって、身近な地域が教科書で扱われていると感じました。3年生から6年生まで、近畿地方の施設を中心に扱われています。特に4年生の水の学習においては、琵琶湖や枚方市の村野浄水場が掲載されており、大東市の子どもたちも校外学習で見学に行くことも多いので、自分ごととして、学習に取り組めるのではないかと思います。授業をデザインする教員にとっても、使いやすいものになるのではないかと思います。

澤田委員

そうですね。社会科の学習において、身近な地域が扱われていることは、子どもたちが、主体的に学習に取り組む要因となりますね。そういった点においても「日文」が大東市の子どもたちにとって必要な教科書だと言えるかもしれません。

5年生の工業の学習では、東大阪市が掲載されていることも、大東市の子どもたちにとって身近で良いですね。

太田委員

その他にも大東市は、人権学習を大切にしており、6年生の歴史学習において、社会科だけでなく総合的な学習の時間とあわせたカリキュラムを編成して取り組んでいる学校もあります。そういった視点でも社会科の教科書は、非常に重要です。「日文」においては、「渋染一揆」や「全国水平社」についても、コラムとして詳しく説明されていると感じました。

水野教育長

ありがとうございます。

皆さんから出ましたこれらの意見を総合的に考えますと、本市としては「日文」となるかと思いますが、いかがでしょうか。

各委員

【異議無し】

水野教育長

それでは、『日文』を採択いたします。次に地図に移ります。

渡邊部長

続きまして、地図でございます。
まずは「東書」でございます。

- ・3年から地図帳の利用を意識した内容である。
- ・地図帳の導入において、博士と一緒に地図学習を進める流れで書かれており、楽しく学びに向かうことができる。
- ・「ホップ、ステップ、マップでジャンプ」というコーナーがあり、地図から探すことを誘うようになっている。

次に「帝国」でございます。

- ・3年から4年間使用することから、「3年生の学習」という項目があり、地図の基本・約束についての記述がある。3年生が読みやすいように文字が大きく、ゆとりのある配置である。
 - ・160万分の1の縮尺の「広く見わたす地図」では、都道府県名がはっきりとして見つけやすく、都道府県で有名なものが大きなイラストで載っており、3、4年生が学習に活用しやすい。
 - ・日本の歴史のページでは出来事の年表に、それぞれの出来事が地図帳のどのページで起きている事なのかが細かく載っており、児童が興味・関心を持つ内容になっている。
 - ・「地図マスターへの道」というコーナーや二次元コードが2ページに1つはついており、発展的な学習ができるような動画やクイズがある。
 - ・「SDGs」や「日本の自然災害と防災」について掲載されており、児童がより日常生活とつなげやすい。
- 以上でございます。

水野教育長

それでは、協議に入ります。ご意見をお願いします。

太田委員

2者ともに、ユニバーサルデザインを意識したフォントを活用していてとても見やすく良いと思います。

中野委員

3年生からの活用を意識した構成が2者ともに見られました。とりわけ地図の導入の学習として、見やすさと導入のしやすさを総合的に勘案すると「帝国」だと思います。

澤田委員

「東書」には、巻頭の見開きページで、子どもたちが知っている国名やあいさつの紹介に加えて、国土の小さい国においても、正確に記載されていて、配慮がなされていることがわかります。

齊藤委員

子どもたちは、自分たちの住んでいる地域が地図上でどのように掲載されているか、わくわくしながら地図帳を見ると思います。そういった視点で大東市周辺の記載を見ると、「東書」では、飯盛城跡が記載されており、「帝国」は、学研都市線の記載がありました。

また、「帝国」は、市の区画まで正確に記載されており、子どもたちが、大東市の形や大きさを他の市町村と比較しやすいと感じました。

太田委員

地図の情報量でいうと、2者ともに子どもたちの学習において必要な情報が掲載されていて甲乙つけがたいですが、子どもにとって適量な情報量はこの視点では、「帝国」だと思います。

齊藤委員

最後の方にあります統計ページについては、「帝国」が、身近な暮らしにつながる工夫や、情報量においてもすっきりしていて、子どもたちにとって見やすいと思いました。

水野教育長

ありがとうございます。私は「帝国」には、領土問題についての記載が、詳しく解説されていて、良いと感じました。

他、いかがでしょうか。

答申文を読みましても、「帝国」の内容が充実しているようですね。

2者のうちどちらかと言いますと、先ほどから出ておりますように、総合的に考えて、本市としては「帝国」となりますでしょうか。いかがでしょうか。

各委員

【異議無し】

水野教育長

それでは、『帝国』を採択いたします。次に算数に移ります。

渡邊部長

続きまして、算数でございます。

まず、「東書」でございます。

- ・ 保幼小のつながりを意識し、1年は入門期の教科書が別冊となっている。他学年の教科書より大きい A4 サイズで、書き込めるオールインワン型であり、入学当初の学習をサポートする工夫がある。また、実際に教科書上にブロックを置いて、操作する学習活動ができる。
- ・ デジタルコンテンツが非常に多い。ほぼすべてのページに二次元コードがあり、個別最適な学びが保障されている。取り組む問題数も、個に応じて決めることができる。
- ・ 導入ページは、児童たちの興味がある課題設定となっていて、日常生活や社会と関連付けやすい。また、導入にふさわしい問いがあり、協働的に学びを進める工夫がされている。
- ・ 複数の考え方を提示し、児童が説明する課題や話し合いを促す吹き出しがあるなど、協働的な学びを意識できる内容になっている。
- ・ 資料やデータのよみとりから理解を深めることができるページが多くあり、問題の解決方法を生活に生かすことができる。

続きまして、「大日本」でございます。

- ・ 他教科や他学年とのつながりを児童自身が意識して学べるよう、マークや関連事項を記載する工夫がある。
- ・ 複数の考えを示して、対話を通して考えを深めていくことができる工夫がある。

続きまして、「学図」でございます。

- ・ 算数的な見方・考え方をキャラクターとして教科書の中で登場させ、児童が楽しみながら学習できる工夫がある。内容も児童が自ら気づき、考えるヒントになる工夫がある。
- ・ 個別最適な学びを進める手立ての一つとして、図や表を使って、自分の考えを表現する方法が、選択できるようになっている。低学年

からの半具体物を使った思考も、継続してできるようになっている。

- ・資料やデータを活用するページが多く掲載されていて、生活に生かすことができるように配慮されている。

続きまして、「教出」でございます。

- ・理科や社会、国語などの他教科と関連した場面を扱った教材があり、児童が教科横断的に学習に取り組める工夫がある。
- ・複数の考え方を示している。また、授業の中で話し合っ深める手立てが示されている。

続きまして、「啓林館」でございます。

- ・「算数の学習の進め方」のページで、算数の学習の学び方について記載されており、児童が主体的に学ぶ工夫がある。
- ・「ふりかえろう」から「やってみよう」のページへのつながりが、自然と生活に学んだことを活用できる流れとなっている。

最後に「日文」でございます。

- ・5、6年の教科書では、中学校とのつながりが意識できるよう、中学接続マークが使われており、スパイラルに学習意欲を持たせている。
 - ・6年「データの調べ方」では、問題の解決の仕方が9ページにわたって解説されており、今後の生活に生かしやすくなっている。
- 以上でございます。

水野教育長

それでは、協議に入ります。ご意見をお願いします。

澤田委員

「東書」は、1年生の学習において配慮があるなど感じました。発達段階において個人差の幅が大きい架け橋期において、すっきりとさせた構成や書き込み等の扱いやすさに重点を置いているように感じました。また、タイルを操作して、学んでいくのも良いと感じました。

齊藤委員

学習したことを、さらに深めたいという思いを持っている子どもにとって、チャレンジ的な問題があることはとても重要だと思います。その点で、充実しているのは、「東書」と「啓林館」と「日文」ではないかと思います。

水野教育長

どこの発行者も日常の生活につなげようという意識が随分見られます。また、6年生の教科書には、中学校の接続を意識した部分がたくさんありました。中でも「東書」と「啓林館」は、導入部分など、子どもたちがわくわくできることを重視した内容になっており、中学校への接続を意識させる部分も非常に良いと感じました。

太田委員

「大日本」は、登場するキャラクターについて多様性が感じられて良いと感じました。また、複数の考えを示して、対話を通して考えを深めていける工夫も感じます。主体的・対話的で深い学びにつながる授業が実現できると感じます。

一方で、「日文」は、子どもたちの学びへの意欲を高めるしかけ

が、非常に優れていると思いました。複数の考えを示して、対話を通して考えを深めていける工夫が見られますし、主体的・対話的で深い学びにつながる授業が実現できると感じました。

澤田委員

「学図」は、答申にもありましたように、個別最適な学びを進める手立ての1つとして、図や表を使って、自分の考えを表現する方法が、選択できるようになっていて良いと思います。低学年からの半具体物を使った思考も、高学年でも継続して学んでいけるようになっていく点が優れていると感じられました。

齊藤委員

「教出」は、6年生の発展のところで、理科や社会、国語などの他教科と関連した場面を扱った教材があり、教科横断的な視点を学習に取り入れられる点は非常に大切だと思います。

中野委員

わたしは、見本本を全て見させていただいて、「東書」がよいと思いました。デジタルコンテンツは、6者とも充実しているのですが、中身が充実しているという点では、算数という教科の特性を考えましても「東書」がより学びを深められると思います。

太田委員

中野委員に付け加えて、二次元コードの視点も、非常に重要になると思います。「東書」は、ものさしの使い方などの動画だけでなく、単元の導入で映像があり、映像からの情報の方が理解しやすい子どもたちのことを考えると、その点でも、「東書」は、優れていると感じました。

水野教育長

さて、皆さんから出ましたこれらの意見を総合的に考えますと、本市としては「東書」となるかと思いますが、いかがでしょうか。

各委員

【異議なし】

水野教育長

それでは、『東書』を採択いたします。次に理科に移ります。

渡邊部長

続きまして、理科についてでございます。

まず、「東書」でございます。

- ・ 消防士など働く大人の姿に女性職員の写真を掲載し、職業によるジェンダーギャップに配慮されている。
- ・ 二次元コンテンツが豊富で、動画資料やデジタルで書き込み可能なワークシート、実験説明や問題などのコンテンツにリンクさせているため、一人ひとりが柔軟に学習に取り組める環境が設定されている。

続きまして、「大日本」でございます。

- ・ 全体的なレイアウトが、余白を含め配色のバランスがよく、情報をとらえやすくなっている。
- ・ 学習に関連付けられた資料や実験手順などの動画や確認問題、地域の科学館や博物館のウェブサイト二次元コードでリンクさせているため、一人ひとりが柔軟に学習に取り組める。
- ・ 単元のおわりでは、「たしかめよう」で学習を確認することがで

き、「ふかめよう」として学んだことをさらに深められるようになっている。

続きまして、「学図」でございます。

- ・月の動きの実験でボールを使用して行うなど、身近な材料や道具を使って実験や観察を行えるような提案がされている。
- ・文末に「…」をつけ、続きを児童が考えるように意図されている会話が多く取り入れられているため、説明する活動を通して、新たな気づきが得られるようになっている。

続きまして、「教出」でございます。

- ・考え方、見方の視点になることや、知識としてのキーワードが色分けマーキングされ、児童が学習のポイントを押さえやすくなっている。
- ・学習の内容ごとに、気づきから振り返りまでが一連の流れとなるように示されている。
- ・「まなびリンク」として動画やウェブ図鑑、他社リンクなど、内容が充実している。特にウェブ図鑑においては3年の生き物の単元で有効に活用することができる。

最後に「啓林館」でございます。

- ・「理科の楽しみ方」として「見つける・調べる・まとめる」の3つの段階に分けて示し、学習の流れがわかりやすく確認できるようになっているとともに、その学年で特に大切な部分が示されている。
- ・写真やイラストが、児童の発達段階に応じた適切な資料として、学習内容を捉えやすい。
- ・考え方、見方の視点になることがマーキングされ、児童が学習のポイントを押さえやすくなっている。
 - ・随所に「思い出そう」の項目があり、既習内容や他教科での学習などを振り返ることができるように工夫されている。

以上でございます。

水野教育長

それでは、協議に入ります。ご意見をお願いします。

中野委員

「東書」は、デジタルコンテンツの豊富さと、掲載されている写真のクオリティの高さという点で、視覚的な理解を補完しておりますので、非常に良いと感じます。

また、「大日本」もデジタルコンテンツが豊富で、とくに理科という教科において、これは非常に有効だと思います。

澤田委員

「学図」は、子どもたちが、理科を好きになるような工夫がたくさんあるので、子どもがわくわく感をもって授業に取り組める良い教科書だと思います。また、答申にもあったように、身近なもので実験器具を作り、実験や観察が行えるように提案している部分も良いと感じました。

太田委員

どの発行者も、写真やイラストがきれいで、多くの工夫を感じました。中でも「教出」は、ウェブ図鑑などの写真が鮮明であり、リアル

なイラストもあって、子どもたちが詳しく調べられる工夫が多く見られました。

水野教育長

SDGsの視点から見ますと、すべての単元で詳しく表記されているのが「大日本」だと感じました。裏表紙にも記載がありますが、このマークがあることで、子どもたちの教科横断的な学習につなげられるヒントにもなるのではないかと思います。

齊藤委員

「啓林館」は、まとめのノート例があり、子どもたちが学習内容を捉えやすいと感じます。また、学習で出てきた新しい言葉も、わかりやすく記載されていることで、子どもたちが理科の学習用語として、捉えやすいと感じました。

中野委員

「啓林館」は、学習の流れも捉えやすく、子どもにとって学びやすいと感じます。5年生の「ヒトのたんじょう」はイラストの分かりやすさ、見やすさ、教えやすさを総合的に考えると良いかなと感じました。

澤田委員

「啓林館」は、各単元のはじめにある「思い出そう」の項目が、答申にもありましたが、既習内容や他教科での学習からふり返ることができる点が良いと思います。実験や結果のページでも、情報がすっきりとしており、子どもたちにも視覚的に分かりやすい構成になっていると感じました。

水野教育長

ありがとうございます。
さて、皆さんから出ましたこれらの意見を総合的に考えますと、どうでしょう。
本市としては「啓林館」となるかと思いますが、いかがでしょうか。

各委員

【異議なし】

水野教育長

それでは、『啓林館』を採択いたします。次に生活に移ります。

渡邊部長

続きまして、生活でございます。
まず、「東書」でございます。
・「かつどうべんりてちょう」は児童の学びの支援となっている。道具の使い方、調べ方、まとめかたなどがすべて二次元コードを読み取ることで、いつでも確認できるようになっている。
・実際に活動している写真がページごとに盛り込まれており、イメージしやすい構成になっている。登場する挿絵の子どもたちも多文化・多様性の視点から描かれている。
・巻末に「ほんとうのおおきさ いきものずかん」として、春夏秋冬が連続で紹介されている。見比べがしやすいページ構成である。
・日常生活や学校での活動と結びついた内容となっている。

次に「大日本」でございます。
・写真や挿絵などが効果的に配置され、適切である。文字の分量も適

切である。児童の発達段階に配慮されている。

- ・ふりかえり欄は、顔の型に自分の気持ちを表現するという形（きもちマーク）がある。自分の気持ちが表情として視覚化されている。

次に「学図」でございます。

- ・「学び方図かん」は児童の学びの支援となっている。
- ・ページごとに「ものしりノート」「やくそく」という欄があり、活動する時のヒントが示されており、わかりやすい。

次に「教出」でございます。

- ・案内役の「いぐら」は親しみがあってよい。子どもたちにも親しみやすいキャラクターである。
- ・案内役の「いぐら」によるふりかえりが単元で1つある。「いぐら」が上っているハシゴの高さで、振り返りの質問に対してどこまで達成したか＝登れたかという評価の方法は、達成率が高さとして見える工夫がある。

次に「光村」でございます。

- ・各ページの挿絵としてヨシタケシンスケさんの絵が使われており、素朴さの中にあたたかさが感じられる。
- ・教科書を用いる学年と同学年児童が書いたと思われるふりかえりやワークシート等が教科書全体を通して記載されており、書き方の手本やイメージをもつことができる。

最後に「啓林館」でございます。

- ・総重量660gと軽く、低学年の児童にとって負担感がない。
- ・写真や挿絵、図、などが効果的に配置されている。
 - ・単元ごとのふりかえりでは、「できるかな できたかな？」と題して、3つの質問がイラストとともに記載されている。できたものには○をする仕組みであり、文章表記だけではないことから、児童は取り組みやすい。

以上でございます。

水野教育長

それでは、協議に入ります。ご意見を申し上げます。

澤田委員

「啓林館」は、情報量が豊富で、子どもたちの学びの手立てになるヒントがたくさん示されていると思いました。

齊藤委員

「光村」は、やはりヨシタケシンスケさんの絵が特徴的だなと感じました。また、子どもたちにとっても、見やすく構成されており、視覚的に分かりやすく良いと思います。

水野教育長

学習場面でのタブレット端末の活用という視点で見ますと、「教出」と「啓林館」に、学習活動の中での活用が見られました。

中野委員

「大日本」は、「ありがとうを とどけよう」という項目があり、関わった方への感謝の気持ちを伝えることの大切さが扱われていました。生活科は実際の生活と関連する学びが多くありますので、子ども

たちが、日常生活の中でたくさんの「ありがとう」があることを知り、生活の中で「ありがとう」を見つけて日常生活におとしこむことができればよいのではないかと感じました。

太田委員

低学年の教科書ですので、やはり、イラストや写真が多い方が良いと感じます。中でも、「東書」は、子どもたちの学習活動の写真が笑顔であることが印象的です。また、各発行者ともに、巻末などに、子どもの学びの手立てとなるコーナーがあり、どれもすてきな工夫だと感じました。

齊藤委員

どの発行者も子どもたちがわくわくしながら学ぶことができる教科書で、写真やイラストでの視覚的な工夫がすばらしいと感じました。中でも「東書」は、イラストと写真のバランスが良く、細かい部分に着目させる場合はイラストを使用する点が優れていると思います。

太田委員

スタートカリキュラムの視点から見ると、「東書」が特に意識して編集されているのではないかなと感じました。教員にとっても、スタートカリキュラムでの学習活動が、捉えやすく、指導しやすいと感じます。

水野教育長

ありがとうございます。私も保幼小の架け橋期のスタートカリキュラムが、非常に重要だという視点で全ての教科書を見ました。それぞれの発行者において、スタートカリキュラムを意識した編集がされているなと感じました。「東書」については、太田委員と同じように、特に意識した部分が多かったと感じました。

水野教育長

委員のみなさん、ありがとうございました。
さて、皆さんから出ましたこれらの意見を総合的に考えますと、どうでしょう、
本市としては「東書」となるかと思いますが、いかがでしょうか。

各委員

【異議なし】

水野教育長

それでは、『東書』を採択いたします。次に音楽に移ります。

渡邊部長

続きまして、音楽でございます。

まず、「教出」でございます。

- ・歌唱では、低学年から輪唱・交互唱・パートナーソングを取り扱っており、合唱の基礎を効果的に学ぶことができる。
- ・音楽づくりでは、簡単に取り組める教材から、発展的な内容のものまで発達段階に応じて幅広く取り扱っている。
- ・音楽を構成する基本的な要素について学び、それらを活かして表現や鑑賞につなげるなど、学年ごとに系統性ある年間計画になっている。
- ・二次元コードの動画を活用し、より詳細な資料を閲覧したり、基本的な奏法を学んだりすることができるなどの工夫がみられる。

次に、「教芸」でございます。

- ・観点別の目標が教科書にもはっきりと明記されており、教員だけでなく、児童にも意識させることができる。
 - ・美しい写真が多く、写真を手掛かりに歌詞をイメージしやすい。特に、5年の「スキーの歌」の写真は、躍動感があり、歌詞と結びつけやすい。
 - ・表紙裏のコラムや、作曲家などのインタビューなど、曲に関連した記事が掲載されている。
- 以上でございます。

水野教育長

それでは、協議に入ります。ご意見を申し上げます。

中野委員

「教出」は、実物大の鍵盤ハーモニカの写真があり、実際に指運びの練習ができるなど、子どもたちが練習するのに最適だと感じました。また、楽器を扱う楽しさや音楽づくりなど、子どもにとって楽しめる単元が豊富にあると思います。

齊藤委員

「教芸」は、デジタルコンテンツが活用しやすいと感じました。情報量も豊富なため、家庭学習にも活用できる素材がたくさんあって良いと思いました。

太田委員

それぞれの発行者で、国歌の取扱いについて工夫があると感じます。「教出」は、歌詞の大意が掲載されていたり、さざれ石の写真が掲載されていたりと、国歌の意味や、歌詞の情景がイメージしやすい工夫があると思います。

澤田委員

「教出」は、子どもたちが楽しめる歌が、多く扱われていると感じました。2年生では、「九九の歌」や「単位の歌」、また英語の歌など、教科横断的なしかけもあり、子どもが楽しく歌える曲目が豊富だなと感じました。

齊藤委員

「教芸」は、3年生以上の巻頭の見開きのページでは、多様な音楽の形がコラムやエッセーなどで掲載されていて、演奏家からのメッセージが伝わりやすくなっていて良いと思いました。

澤田委員

巻頭の見開きの工夫で言うと、「教出」でも、4年生以上にはなりますが、世界で活躍されている音楽に関わる著名な方からのメッセージがあると思います。

水野教育長

ありがとうございます。
さて、皆さんから出ましたこれらの意見を総合的に考えますと、本市としては「教出」となるかと思いますが、いかがでしょうか。

各委員

【異議なし】

水野教育長

それでは、『教出』を採択いたします。次に図画工作に移ります。

渡邊部長

続きまして、図画工作です。
まず、「開隆堂」でございます。

- ・どの題材にも「タブレット端末で見てみよう」という二次元コードがあり、学習のめあてや用具の使い方、作品例などがみられるようになっており、どの児童にとってもわかりやすい工夫がされている。また、作品カードや振り返りカードもダウンロードすることができる。
- ・全体的に写真や文字が大きく、制作する児童の表情も明るく親しみやすい。
- ・使用する用具や材料がイラストとともにわかりやすく示されている。

次に、「日文」でございます。

- ・色や模様で心（気持ち）を表す「気持ち」カードコレクションは高学年ならではの題材設定がされている。
 - ・題材の制作から完成までの過程を図や写真でわかりやすく示している。
 - ・二次元コンテンツ（シンキングツール、鑑賞ツール、KOMAKOMA など）が充実しており、多様な学び・表現ができるよう工夫されている。また、「作品」横の二次元コードから参考作品を多数閲覧することができる。
 - ・アートカードを使った対話的な鑑賞の取り組みが設定されている。
- 以上でございます。

水野教育長

それでは、協議に入ります。ご意見をお願いします。

太田委員

「日文」は、二次元コードを活用して、多くの作品を見ることができなのが、非常に良いと思います。図画工作が苦手な子どもにとって、作品例を活用することで、イメージを持ちやすくなると感じます。

齊藤委員

「開隆堂」は、学習のめあてがキャラクターと共に提示されていることで、授業のねらいがはっきりすることが大変効果的だと感じます。また、必要な用具についてもイラストで掲載されていることで、教員にも活用しやすい教科書だと思います。

澤田委員

わたしは、「日文」が良いと感じました。子どもたちが作品を作成している写真が豊富で、題材の制作から完成までの授業の流れが写真を見るだけでわかりやすいと感じました。

また、「アートカード」を活用した鑑賞の学習の活用例が紹介されていて、カードを通して、図画工作科の見方・考え方が育まれると思いました。

中野委員

わたしも、「日文」が良いと思います。二次元コードを活用して、友だちの作品を多数見られることで、子どもたちがイメージを持つことができると思いました。また、タブレットを活用した題材も紹介されており、さまざまな角度から図画工作の力を育もうという工夫が感じられました。

水野教育長

ありがとうございます。わたしも「日文」については、1人1台端

末を活用した、デジタルデザインの活動が、面白そうな題材だなと感じました。日常生活にあるものをデザインとして捉えるという視点が素晴らしいと思いました。

では、皆さんから出ましたこれらの意見を総合的に考えますと、どうでしょう、
本市としては「日文」となるかと思いますが、いかがでしょうか。

各委員

【異議なし】

水野教育長

それでは、『日文』を採択いたします。次に家庭に移ります。

渡邊部長

続きまして、家庭でございます。

まず、「東書」でございます。

- ・学習の進め方が3ステップで構成されており、学びやすい流れになっている。
- ・早い段階で「SDGs」の視点を学び、その後の学習や他教科に生かすことができるように工夫がされている。
- ・「家庭科の窓」「生活を変えるチャンス」などの項目から、学んだことを生活に生かすことが期待できる。

次に、「開隆堂」でございます。

- ・実物が分かるように写真を使うところと、イラストで説明するところがあり、発達段階を考慮しながら、必要に応じた見やすさの工夫がなされている。児童が活動しやすいよう見て分かる工夫がされている。
 - ・実習手順や制作手順は見開きページにまとめられ、児童にとって、流れや順序が理解しやすい構成になっている。
 - ・多様な動画コンテンツがあり、児童が自己調整しながら、主体的に学習を進めていけるよう配慮されている。
 - ・「キャリアインタビュー」として、21名のインタビューが掲載されており、キャリア教育の一環とすることができる。
- 以上でございます。

水野教育長

それでは、協議に入ります。ご意見をお願いします。

齊藤委員

「東書」は、他教科とのつながりがわかりやすく記載されていて非常に良いと感じました。子どもたちも、つながりを意識して学習できるのではないかと思います。

中野委員

どちらの発行者も、使用する用具において左利きの児童の活動にも配慮が見られ、すごいことだと思います。

また、SDGsについても、どちらの発行者も掲載されており、甲乙つけがたいなという意見です。

澤田委員

「開隆堂」は、見開きのページを見たときに、左から右へと視点の運び方が自然な流れで追えるように編集レイアウトがされており、見やすさを感じました。

齊藤委員

「東書」は、食育の観点から、食べる時のマナー例についての記載が良いと思います。また、動画もあるので、具体的なマナーについて深めやすいと感じます。ご家庭で、すぐに実践できる内容が工夫されています。

太田委員

わたしは、「開隆堂」が良いと思いました。裁縫の単元では、実物の写真とイラストを子どもたちがわかりやすいように使い分けている工夫が見られました。また、裏表紙には、実習で活用できる実物大の写真に掲載するなど、実習中でも、教科書を広げずに、すぐ確認できる点が良いと思いました。

中野委員

「開隆堂」のキャリアインタビューは、その人がかかわっている職業の内容や取り組む姿勢を知り、そのうえで、自分たちの生活がいろいろな仕事によって支えられていることに気づくこともできると感じました。

水野教育長

ありがとうございます。
二者とも甲乙つけがたいですが、皆さんから出ました意見を総合的に考えますと、「開隆堂」となるかと思いますが、いかがでしょうか。

各委員

【異議なし】

水野教育長

それでは、『開隆堂』を採択いたします。次に保健に移ります。

渡邊部長

次に、保健でございます。
まず、「東書」でございます。
・挿絵のキャラクターが、様々な国の人や障がい等について配慮された内容になっており、多文化共生の観点から優れている。
・4ステップで構成されており、知識・技能を習得できる内容が取り上げられている。また、「実習」では関連資料を確認しながら進められるよう工夫されている。

次に、「大日本」でございます。
・挿絵が多く取り入れられており、挿絵に解説の文章が書かれているため、本文の文章量が少なく、読みやすい。
・各ページの下に「ミニ知識」が取り上げられており、知識量を増やすことができる。

次に、「大修館」でございます。
・「まとめ」では、自分の生活を見直す活動が設けられており、自分の生活を振り返ることで、健康の保持増進をめざすよう取り扱われている。
・3ステップのシンプルな学習過程で構成されており、指導しやすい。

次に、「文教社」でございます。

- ・「Stage」では、課題を解決する過程において、思考・判断したことを他者に伝える工夫がされている。
- ・「ここが大事」マークによって、理解すべき知識を確認することができる。

次に、「光文」でございます。

- ・単元の巻頭に4コマ漫画が掲載されており、なぜ学ぶのかを理解しやすいように工夫がされている。
- ・「警察官に聞く」「保健師に聞く」等、インタビュー形式で記載されており、知識を学ぶことができるようになっている。

最後に「学研」です。

- ・単元のはじめに「学習のめあて」がわかりやすく提示されている。学習の進め方は、①自分で考える ②友だちやみんなと考える ③身に付けたことを生かす の3つで構成されており、確実に力を身に付けることができる。
- ・各単元に設定されたデジタルコンテンツで、興味・関心があることについて詳しく学べる工夫がされている。タブレット端末でワークシートに記入することができ、学びの共有がしやすくなっている。
- ・「もっと！知りたい・調べたい」のページでは、発展的な内容が示されており、今後どの段階で学習するかのも系統性も配慮されている。「(タバコの)断り方」の実習動画等、わかりやすく掲載されている。

以上でございます。

水野教育長

それでは、協議に入ります。ご意見をお願いします。

齊藤委員

「文教社」は、情報量が豊富で、学習に役立つ内容が充実しているという印象があります。また、「ここが大事」と示されていることで、理解する内容について、確実な定着を意識されていることがわかります。

太田委員

保健は、取り扱う時間数が、他教科と比べると少ないため、限られた時間の中で、より簡潔に、また効果的に授業を展開する必要があると感じます。そういう意味で、「学研」は、1時間の流れを3ステップで簡潔に構成されており、知識量も情報量も適当な分量であると感じました。

澤田委員

限られた時間数での授業という意見がありましたが、わたしは「東書」についても、子どもにも教員にも、分かりやすく構成されていると感じました。また、巻頭の「どんな自分になりたいかな？」という自分への問いかけが、保健を学ぶ価値づけにつなげられる工夫があると感じました。

水野教育長

「大日本」は、大谷翔平選手の目標達成シートの活用が掲載されており、保健の学習を通して自分の生き方が高められるという導入は、非常に工夫された内容になっていると感じました。

中野委員	<p>「光文」は章の初めに4コマ漫画を掲載しており、学習の外観を捉え、見通しをもたせる工夫を感じます。思春期の心や性の悩みについても寄り添った内容になっていると思います。</p> <p>保健は限られた時間数でより良い授業という点においては、「学研」が、ボリュームにおいても、より適切ではないかと感じています。</p>
齊藤委員	<p>「大修館」は、巻頭の見開きのイラストのページに、学びへの動機づけが掲載されていたり、他教科とのつながりがページ下に示してあったり、子どもたちにわかりやすいと感じました。</p>
水野教育長	<p>ありがとうございます。私も「学研」については、情報量も適切であり、かつ「ほけんのはこ」のコーナーでは、対話的な授業が展開できると感じました。</p> <p>それでは、皆さんから出ましたこれらの意見を総合的に考えますと、どの発行者もそれぞれに優れている点がありました。しかし、選定委員や調査員のご意見を総合的に考えますと、やはり「学研」になりますでしょうか、どうでしょう。</p>
各委員	【異議なし】
水野教育長	<p>それでは、『学研』を採択いたします。次に英語に移ります。</p>
渡邊部長	<p>次に、英語でございます。</p> <p>まず、「東書」でございます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国の人との交流を目標とし、一度に複数のキーセンテンスを学び、テーマから多角度に広がる様々なコミュニケーション活動を盛り込んでいる。 ・5、6年で1冊のPicture Dictionaryを使用するため、6年生が5年生で学んだ単語を使うことができるように工夫されている。 ・デジタル教科書では、字幕を出すことができ、発音と単語が結びつきやすい。 <p>次に、「開隆堂」です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各 Lesson が8～9時間で組んであり、学習する英語へ「出会う」→「聞く」→「慣れ親しむ」→「活動する」→「伝え合う」→「海外の生活や様子を知る」→「既習事項のチェック」と、段階を踏んでいる。またページに1～8の数字の表示があり、児童が学びの進捗を確認することができる。 ・巻末に観点毎のCAN-DO リストがあり、児童にも教員にも系統的なゴールが示されている。 ・デジタル教科書では「Let's watch and Think」の速度を変えることができるため、児童がメモを取りやすい。速度を変えて、聞くことや発音することの練習ができる。 ・5年、6年それぞれにWord Book(辞書)がついており、内容はほぼ同じであるが、6年に頻度(always-never)や、部活動が加えられ、広い表現への活用を狙っている。

次に、「三省堂」です。

- ・ ページ構成が見やすく、教員にとって授業をしやすい。各 Unit で新しく出てきた英文につながる英文が次ページに出てくるため、復習しつつ、表現を広げることができる。
- ・ ページの下にポイントが記載されており、児童自身がポイントを確認することができる。

次に、「教出」です。

- ・ 挿絵や写真で、男女や多様な国の人を紹介しており、さらに乳児を背負った父親、幼児を連れた母親、車いす使用者が描かれるなど、多様性に富んでいる。
- ・ 各 Lesson の最後に振り返りがあり、ねらいがどのくらい達成できたか、視覚的に児童自身で確認できるように工夫されている。

次に、「光村」です。

- ・ 教科書の構成、5、6年の目標、CAN-DO リストが初めに明示されており学習の目標が明確で、学習を見通すことができる。
- ・ デジタル教科書の「Let's Listen & point」があり、Picture Dictionary を使いランダムな発音を聞くことができる。クイズ感覚で楽しく学ぶ工夫がある。
- ・ 巻末の Picture Dictionary は、はめ込み式となっている。通常は教科書の一部のまま使用し、取り外して使うこともできるため、画期的な便利さである。単語は4線上に書かれており、児童が書き写す時に、基本を守って書くことができる。

最後に、「啓林館」です。

- ・ CAN-DO リストは、Unit や観点別に載っており、会話の内容レベルが高いものがゴールとなっている。理解が早い児童が、自ら発展的に活動できる内容である。
- ・ チャンツには強く発音する箇所に赤くアクセントマークがあり、英語特有の強弱やリズムをつかみやすい工夫がある。

水野教育長

それでは、協議に入ります。ご意見をお願いします。

太田委員

小学校英語は、英語に慣れ親しむことが大切で、各発行者ともに、やり取りやリスニングなど、コミュニケーションに重点を置いて編集されていると感じました。

デジタル教科書を通して、英語の正しい発音や対話をすぐに聞き取れるという部分では、どの発行者も意識されていると感じました。

また、別冊の辞書的な役割を果たす教材についても、どの発行者も工夫を感じました。「光村」は、教科書に収めたり、取り出したりして活用できる工夫が見られました。

齊藤委員

わたしは、「開隆堂」が良いと思いました。「開隆堂」には、キーボードのイラストがあり、書き写すだけでなく、タイピングによって英単語を覚えることも可能になるのではと感じました。

中野委員

太田委員からの意見にもありましたが、どの発行者もコミュニケーションに重点を置いていることがよくわかる内容でした。特に「東書」と「開隆堂」においては、内容が充実している印象を受けました。また、学習の流れもわかりやすく示されていると感じました。

水野教育長

「教出」は、日本語の解説があまりなく、教員の授業スキルが非常に大切になるのではないかと感じました。また、「三省堂」や「啓林館」は、「書くこと」について、中学校へのスムーズな移行を意識して、5年生から慣れさせていこうという意図を感じる構成でした。

澤田委員

Can - Do リストが明確に示されている発行者が多く、子どもも教員も、この単元で何ができるようになればよいのかが確認しやすいと思いました。とくに「開隆堂」の Can - Do リストが、答申にもありましたが、わかりやすいと感じました。

また、「開隆堂」のデジタル教科書も見ましたが、良いと思いました。

太田委員

「開隆堂」は、ページの端に単元の何時間目かがわかるようになっており、より分かりやすく、見通しをもった学習が教員も子どもたちにも意識できる工夫がされていると感じました。

どの教科についてもですが、見通しを持って学習を進めていくことは、非常に大切な部分だと思っています。

水野教育長

ありがとうございます。

皆さんから出ましたこれらの意見を総合的に考えますと、本市としては「開隆堂」となるかと思いますが、いかがでしょうか。

各委員

【異議なし】

水野教育長

それでは、『開隆堂』を採択いたします。次に道徳に移ります。

渡邊部長

次に、道徳でございます。

まず、「東書」でございます。

- ・デジタル教材を二次元コードで読み取ることができ、教材文の朗読を聴くことができたり、スライドショーでどの場面を絵で表しているのかも確認したりできることから、読むことに苦手意識のある児童や状況・場面把握が不得意な児童もイメージしやすい。
- ・デジタルノートはワークシートをダウンロードすることで、ファイルとして記録でき、児童自身が簡単にフィードバックできるというメリットがある。
- ・全学年で情報モラルにおける単元では、発達に応じたカテゴリーで構成されており、系統立てて学習することができる。

次に、「教出」です。

- ・児童にも一定の知名度がある人物の言葉を使用するなど、教材に入りこみやすい。
- ・重点テーマに向き合える「ユニット教材」があり、教材について学んだあとコラムに触れることで、自分にできることを考え、学びを

広げることができる。

次に、「光村」です。

- ・中心発問に印が付けられており、教員も児童もわかりやすい。
- ・「なんだろう なんだろう」のヨシタケシンスケさんのページが全学年で採用されており、見開きだけの2ページではあるが子どもが興味をもって考えを深めるきっかけになる。

次に、「日文」です。

- ・「道徳のとびら」(P2~P3)が「自分」⇒「まわりの人」⇒「みんな」⇒「生命・自然」と、視点を広げて考えていくことを目標としていることがよくわかる。
- ・別冊「どうとくノート」は、児童が書きやすい内容となっている。
- ・オリンピックの取扱いやネットモラルでは、「ながらスマホ」を取り上げるなど、児童にとって身近な物事を取り上げている。

次に、「光文」です。

- ・4年の「雨のバス停留所」は全ての教科書にもあるが、漫画で掲載されていて、状況がつかみやすい。
- ・「学びの足あと」は、今の自分の学びの深まり度合いを顔の表情で表せたり、矢印で表せたりすることから、教員が児童の学びを見取りやすい。

最後に、「学研」です。

- ・P2~P3で自分のこと(「大切なもの」や「将来の夢」など)を書くことで、自分を見つめる工夫がされている。また、毎年度の初めにあることから、自分で自分の変化を捉えることができる。
 - ・教材について深く考え、自分に置き換えて考えることやふりかえりを書く流れが多い。
- 以上でございます。

水野教育長

それでは、協議に入ります。ご意見をお願いします。

太田委員

各発行者とも「考え、議論する」ことにつながる魅力的な題材でした。

また、いじめや命について、ユニット教材として、学級の状況に応じて、集中的に学ぶことができる構成を意識されている発行者も多かったです。

その上でわたしは、「日文」の「道徳ノート」が、さまざまな読み物教材を通して、自分の考えや意見をまとめられるため良いと思いました。しっかりと自分の考えや意見をまとめて、お互いの考えを聞き合う学習が展開できるのではないかと思います。

水野教育長

道徳の授業では、多くの読み物教材を扱いますが、国語の学習との違いを明確にする必要があると思います。一人ひとりの読解力には差があることを前提として、デジタルコンテンツを活用しながら、教材の内容を理解することは非常に有効だと感じています。そういった点からしても、「東書」のデジタルコンテンツは、子どもたち一人ひと

りへの配慮がされていて良いと感じます。

澤田委員

子どもたち一人ひとりへの配慮という面では、「光文」にも感じます。教材の文章量は全体的に短く、読み取ることへの負担感や個人差に配慮していると感じます。

齊藤委員

私は、週あたり1時間の配当での授業ということで、教材のはじめに内容項目が書かれてある方が、子どもたちにとって学びやすいのではないかと考えます。「日文」は、何を学ぶのかが明確に示されていますので、子どもたちにとって学びやすく、良いと思いました。

太田委員

「学研」では、教材名の下に続きを読みたくなるキーフレーズがあり、子どもたちを学びに誘う工夫が見られました。「教出」は、藤井聡太さんを扱った教材を「まなびリンク」として、ウェブサイトに掲載し、児童の学びを深める工夫がありました。

中野委員

「光村」は、ヨシタケシンスケさんの4コマ漫画が、子どもたちの素朴な心を描いており、子どもたち一人ひとりの心に響くと思いました。

一方、「東書」のデジタルコンテンツは、音声や紙しばいなど多様な種類が用意されており、一人ひとりの読解力の差に十分に配慮できるのではないかと思います。

どの発行者も特徴をもっていますが、私は、「東書」が大東市の子どもたちにとって良いと思います。

澤田委員

我が子も、家庭で道徳の授業の話をしたことがあり、道徳の授業を通して多様な考え方に会い、自分を高める教科なのだと思えさせられたことがありました。

一人ひとりの子どもの学びは多様であり、多様な教材で学びを深めると考えた時、デジタルコンテンツが豊富な「東書」が良いのではないかと思います。

水野教育長

ありがとうございました。

さて、皆さんから出ましたこれらの意見をまとめてみますと、太田委員と齊藤委員が「日文」。中野委員と澤田委員が「東書」ということで間違いないでしょうか。

私の意見は「東書」ですので、「東書」に決めさせていただきたいというふうに思います。太田委員、齋藤委員よろしいでしょうか。

各委員

【異議なし】

水野教育長

それでは、『東書』を採択いたします。

それでは、令和6年度使用教科書見本本発行者一覧をもとに、令和6年度の採択教科書の最終確認を行いたいと思います。

令和6年度使用大東市小学校使用教科用図書としましては、

国語『東書』「新編 新しい国語」

書写『光村』「書写」

社会『日文』『小学社会』
地図『帝国』『楽しく学ぶ 小学生の地図帳』
算数『東書』『新編 新しい算数』
理科『啓林館』『わくわく理科』
生活『東書』『新編 新しい生活 ときどきわくわく1年 あしたへジャンプ2年』
音楽『教出』『小学音楽 音楽のおくりもの』
図画工作『日文』『図画工作』
家庭『開隆堂』『わたしたちの家庭科』
保健『学研』『新・みんなの保健』
英語『開隆堂』『Junior Sunshine 5・6』
道徳『東書』『新編 新しい道徳』
このようになっております。間違いございませんでしょうか。

それでは教委議案第23号の案件を終わります。

次に、日程第4 教委議案第24号 令和6年度使用大東市立中学校教科用図書採択について、提案理由の説明をお願いします。

浅井所長

教委議案第24号「令和6年度大東市立中学校使用教科用図書」の採択についてご説明をさせていただきます。令和6年度に大東市立中学校が使用する教科用図書を採択することにつきまして、教育委員会の議決を求めるものでございます。

理由といたしましては、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第14条、同法施行令第15条第1項の規定によりまして、学校教育法附則第9条に規定する教科用図書を除き、4年間は、毎年度同一の教科用図書を採択しなければならないという規定でございます。

これにより、採択期間は中学校が令和3年度から6年度となります。

すなわち中学校の令和6年度使用教科用図書につきましては、令和5年度と同一の教科用図書を採択しなければならないということになります。

資料「令和5年度大東市立中学校使用教科用図書一覧」にございます教科用図書の採択について、よろしくご審議の上、ご議決賜りますようお願いいたします。

水野教育長

この案件につきましてご意見・ご質問はございませんか。

無いようでしたら、この案件につきまして承認の委員は挙手願います。

【挙手全員】

水野教育長

賛成全員により可決いたしました。

以上で、教科用図書に係ります採択議案は終了しました。

長時間にわたりましたので、一旦5分ほど休憩とさせていただきます。また、傍聴人の中で退席を希望される方は、これにて退席をして

いただいても結構です。

(5分経過後)

水野教育長

それでは、再開させていただきます。

それでは、日程第5 教委議案第25号 「令和5年度小学生すくすくウォッチ」の結果の公表について、提案理由の説明をお願いします。

浅井所長

教委議案第25号「令和5年度小学生すくすくウォッチの結果の公表について」説明をさせていただきます。令和5年度小学生すくすくウォッチの結果の、市としての公表及び学校別結果の公表につきまして、教育委員会の議決を求めるものでございます。

2枚目、実施要領をご覧ください。この取り組みの大きな目的は、1趣旨・目的の1行目にありますように、『子どもたち一人ひとりが、学びの基盤となる言語能力や読解力、情報活用能力等を向上させ、これからの予測困難な社会を生き抜く力を着実につけること』となっております。

問題及びアンケート結果の取扱いに関しましては、実施要領4ページの「(4) 各教科及びアンケート結果の取扱いに関する配慮事項」をご覧ください。

各教科及びアンケート結果については、この取り組みの趣旨・目的を達成するため、適正に取り扱うものとし、公表については、教育委員会や学校が保護者や地域住民に対して説明責任を果たすことが重要である一方、児童等への影響を十分配慮し、各学校の教育活動に支障を及ぼすことのないようにすること、とされています。

各校の平均点を学校ごとに公表する、ということになりますと、学校のランクづけがなされてしまいます。また、実施要領の「児童等への影響を十分配慮し、各学校の教育活動に支障を及ぼすことのないようにする」ということを鑑みますと、結果の公表については、行わないものとさせていただくのが適切である、と事務局としては考えております。

よろしくご審議の上、ご議決賜りますようお願いいたします。

水野教育長

この案件につきましてご意見・ご質問はございませんか。

無いようでしたら、この案件につきまして承認の委員は挙手願います。

【挙手全員】

水野教育長

賛成全員により可決いたしました。

それでは、日程第6 教委議案第26号 令和5年度大東市一般会計補正予算(第3次)【教育関係】に係る意見聴取について、を議題とします。

なお、この案件につきましては、大東市情報公開条例第6条第4号に該当する非公開情報が含まれておりますので、地方教育行政の組織

及び運営に関する法律第14条第7項の規定に基づき、会議を公開しないこととしたいと思います。承認の委員は挙手をお願いします。

【挙手全員】

水野教育長

ご異議なしと認めますので、それでは本件につきましては、非公開とさせていただきます。

傍聴にお越しの皆様は、一旦退席をお願いします。事務局職員は別室に誘導をお願いします。

【非公開】

水野教育長

それでは、教委議案第26号の審議が終了しましたので、ただ今から定例会を公開とします。

以上で本日の教委議案を終わります。

・・・・日程第7 一般業務報告につき要点のみを記載・・・・

①令和5年度大東市6月定例会一般質問の要旨について
⇒教育関連の質問は9議員から13項目。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

各教育委員から意見等について

- ・夏休みに少しでもリフレッシュできるようにしてほしい。
- ・夏休みの宿題のあり方、学校開放の提案について
- ・教科書のすばらしさに気づけた。学校以外でも地域で活用できたらと思う。
- ・渋沢栄一の名言について

以上をもちまして、7月定例会を終了といたします。

以上

令和5年9月13日

水野教育長

澤田委員